

**平成27年度
市民意識調査結果報告書
(概要版)**

**平成 28 年 3 月
恵那市**

目 次

| | |
|----------------------|----|
| 調査の概要 | 1 |
| 1 回答者について | 2 |
| 2 施策の満足度・重要度について | 6 |
| 3 分野別施策満足度の経年比較について | 10 |
| 4 分野別施策重要度の経年比較について | 16 |
| 5 求められるまちづくりの方向性について | 22 |
| 6 個別の施策について | 25 |
| 参考資料 市民意識調査調査票 | 40 |

調査の概要

1. 調査の目的

市民の皆さんから市の取組に対する評価をいただくとともに、これからのまちづくりに対する考えをお聞きし、今後の市政運営の基礎資料とするため、市民意識調査を実施しました。

2. 調査地域

恵那市全域

3. 調査対象者

平成 27 年 11 月 1 日時点における住民基本台帳から、満 20 歳以上の住民 2,000 人を無作為抽出しました。

4. 調査方法と期間

本調査は郵便による送・返信での質問紙調査法により、平成 27 年 12 月 9 日（水）から平成 27 年 12 月 28 日（金）までの期間で実施しました。

【アンケート回収状況】

| | 発送数 (A) | 回収数 (B) | 回収率 (B/A) | 有効回答数※ (C) | 有効回答率 (C/A) |
|---------------------------|------------|------------|--------------|---------------|----------------|
| 今回調査 | 2,000 件 | 987 件 | 49.3% | 987 件 | 49.3% |
| 参考：前回調査 (平成 26 年 度) | 2,500 件 | 1,451 件 | 58.0% | 1,451 件 | 58.0% |

※無効回答とする全ての設問に回答がないものは 0 件でした。

5. 表記方法

単数回答の集計にあたっては、原則として小数点以下第 2 位を四捨五入したうえで、割合の合計が 100.0%になるように調整しています。一方、複数回答(複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。

図表中の「n(number of case)」は、集計対象者総数(あるいは回答者限定条件に該当する人)を表しています。

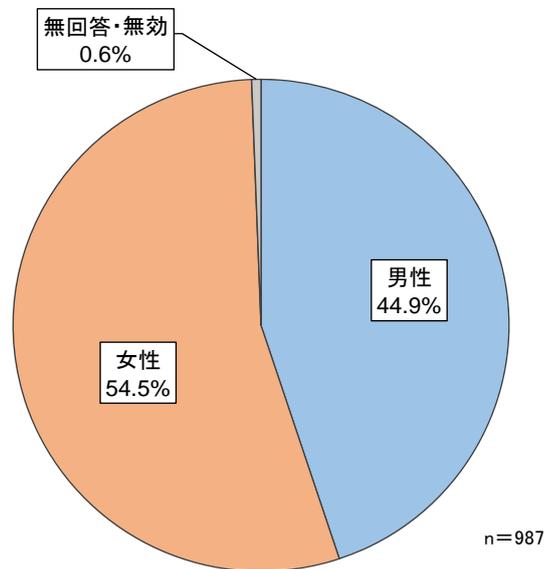
各設問のクロス集計においては、上位 1 位は濃い網掛け、上位 2 位は薄い網掛けとしています。

1 回答者について

(1) 性別

問1 あなたの性別は次のどちらですか。

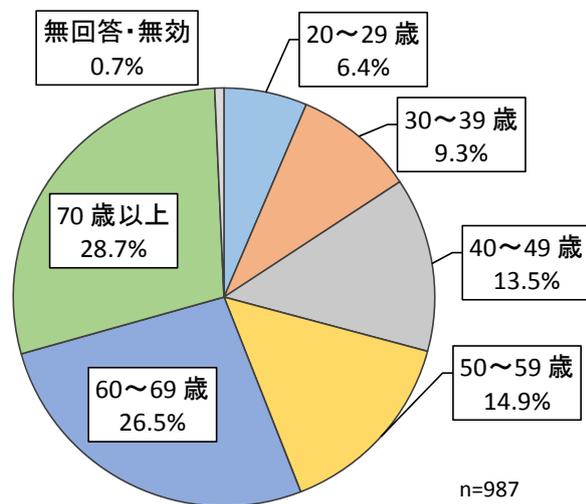
(単数回答)



(2) 年齢

問2 あなたの年齢は、次のどの区分ですか。(12月1日現在)

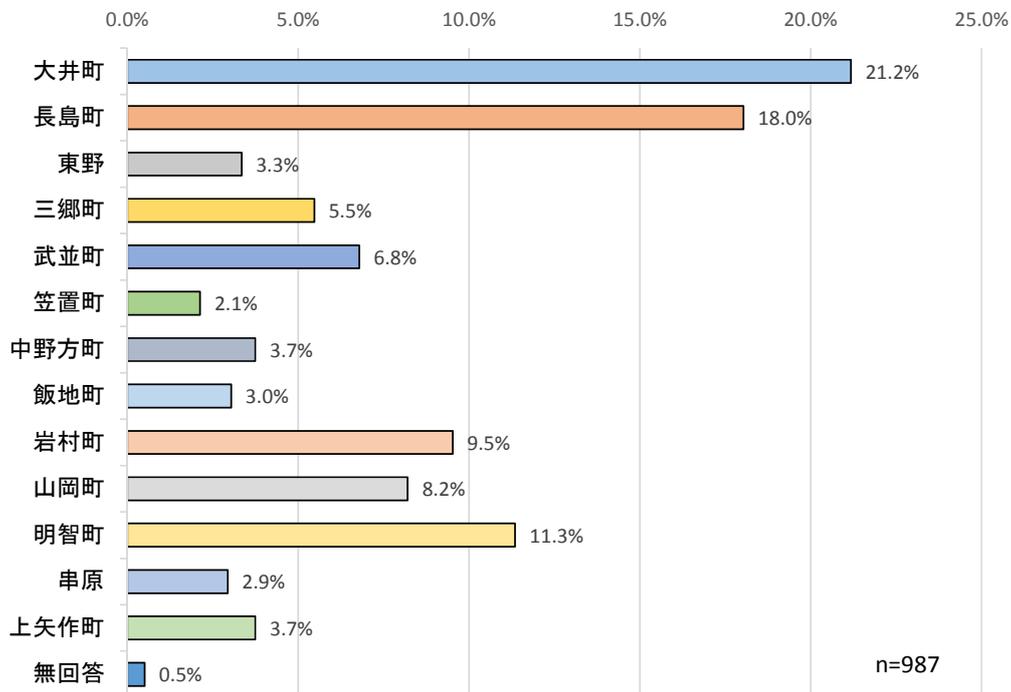
(単数回答)



(3) 居住地域

問3 あなたのお住まいは、次のどの地区ですか。

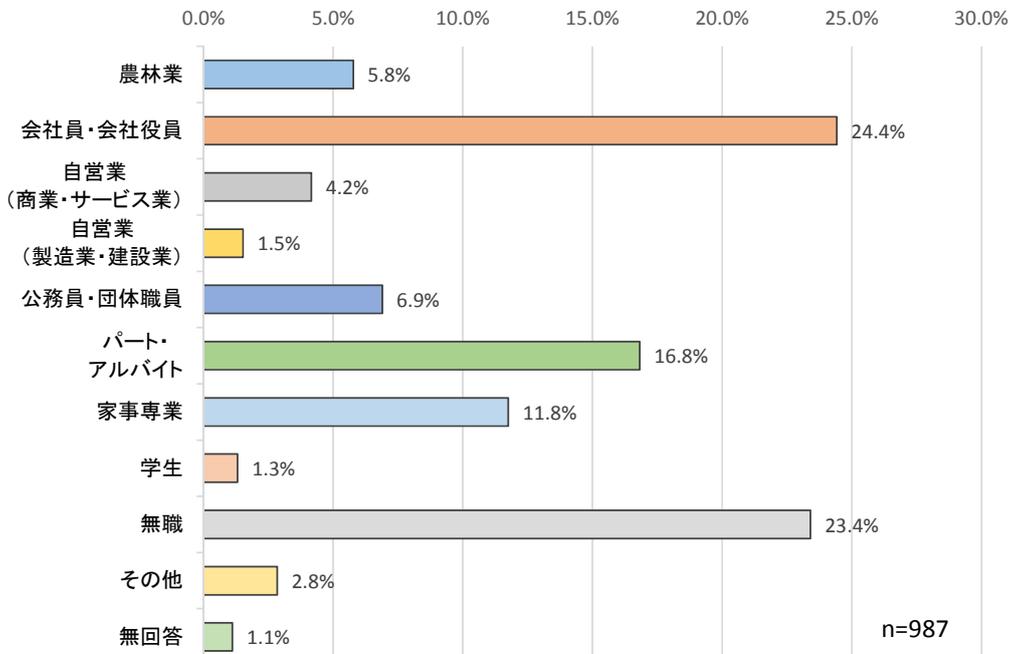
(単数回答)



(4) 職業

問4 あなたの職業は、次のうちどれですか。

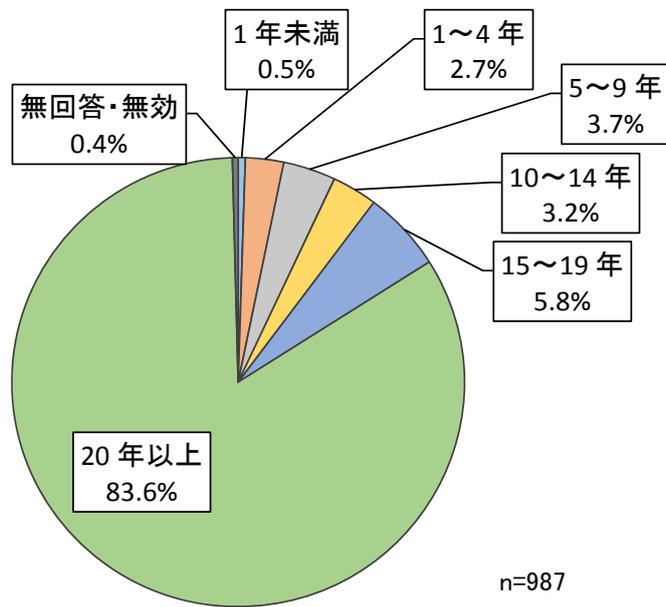
(単数回答)



(5) 居住年数

問5 あなたの恵那市での居住年数（通算）は、次のうちどれですか。

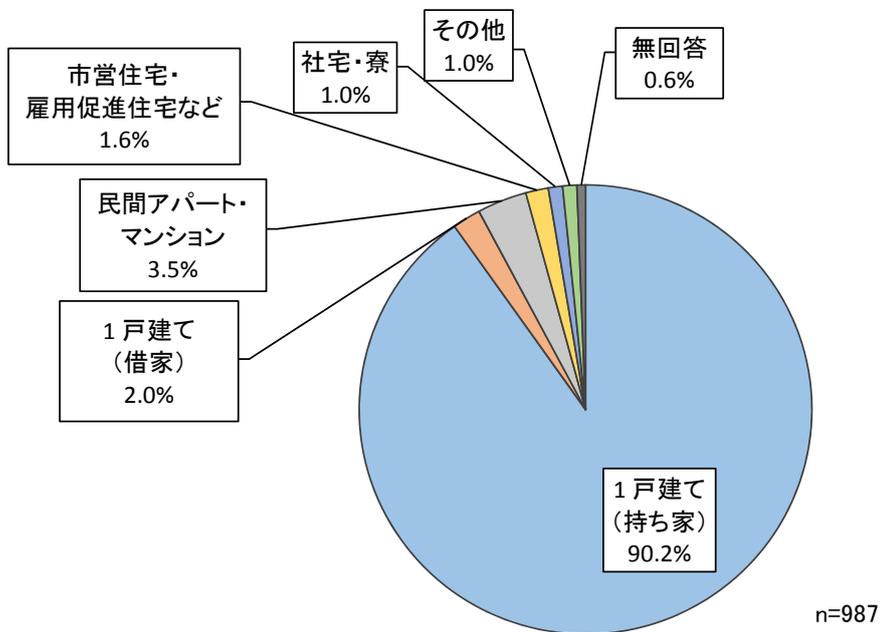
(単数回答)



(6) 居住形態

問6 あなたのお住まいの形態は、次のうちどれですか。

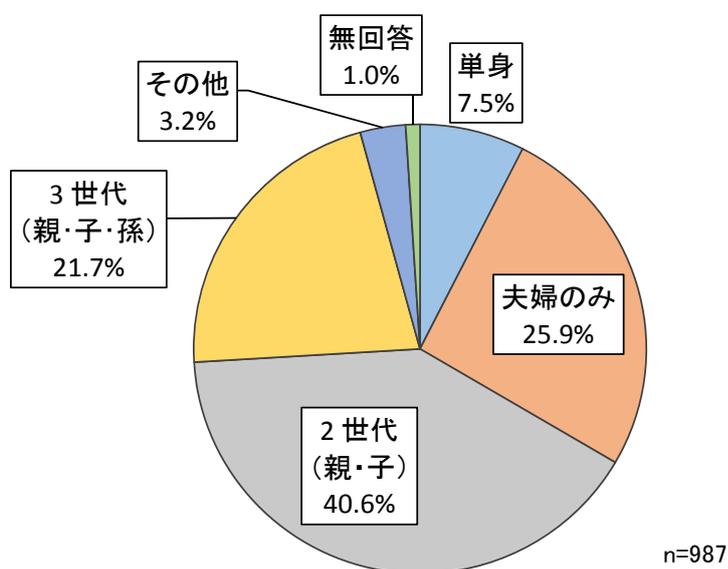
(単数回答)



(7) 家族構成

問7 あなたの同居している家族構成は、次のうちどれですか。

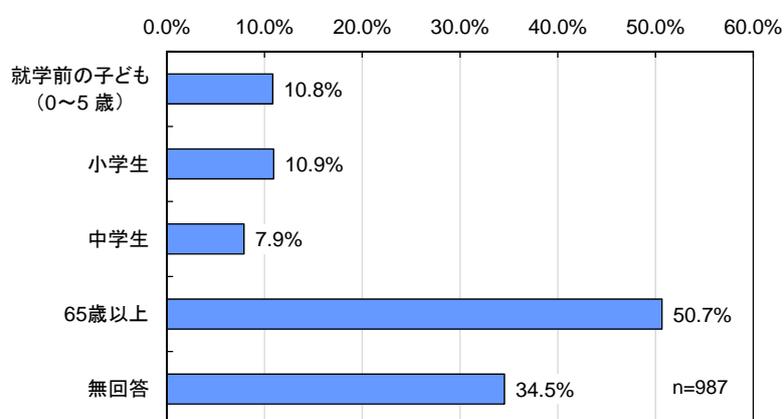
(単数回答)



(8) 同居家族

問8 あなたの同居家族に次の方はいますか。

(複数回答：該当するものすべて)



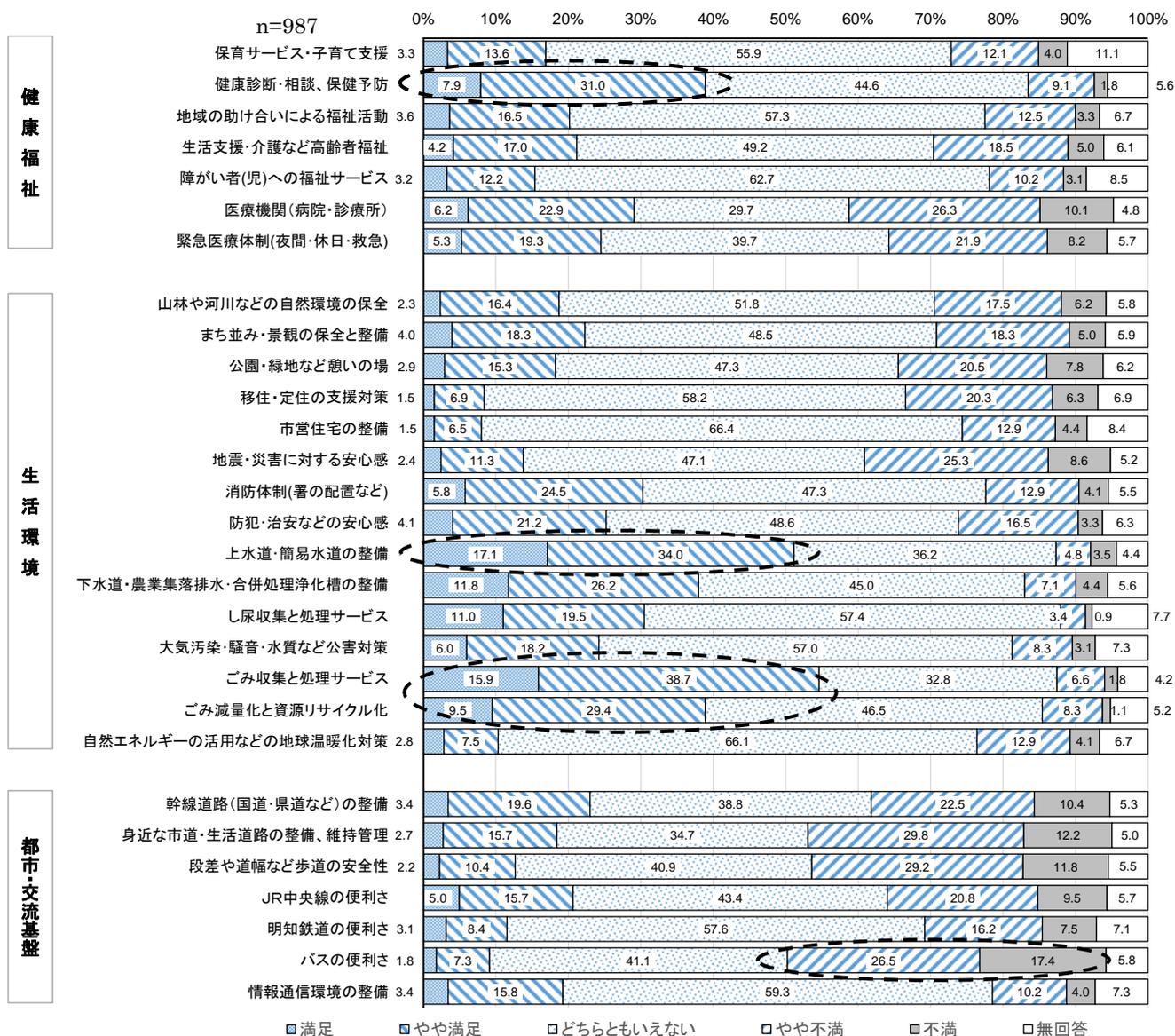
2 施策の満足度・重要度について

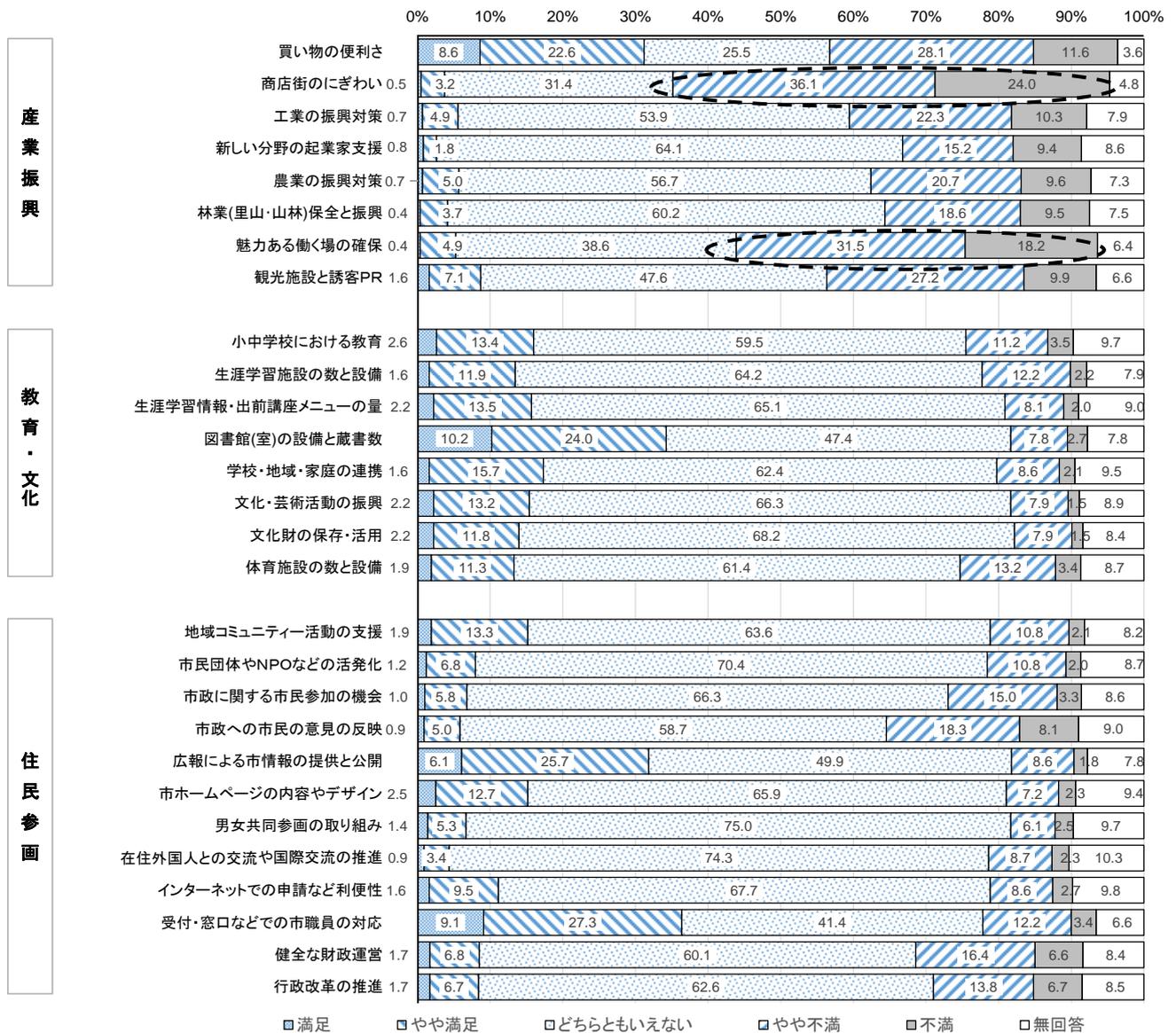
(1) 全 57 施策の満足度(今回調査一覧)

問9 「1」～「57」のすべての項目について(1)『満足度』の1～5の中から1つに○印、(2)『重要度』の1～5の中から1つに○印を付けてください。(単数回答)

満足度(「満足」と「やや満足」の合算)の高い施策は、「ごみ収集と処理サービス」が54.6%と最も高い割合となっており、次いで「上水道・簡易水道の整備」が51.2%、「健康診断・相談、保健予防」及び「ごみ減量化と資源リサイクル化」が38.9%の順となっています。

一方、不満足(「不満」と「やや不満」の合算)の高い施策は、「商店街のにぎわい」が60.1%と最も高い割合となっており、次いで「魅力ある働く場の確保」が49.7%、「バスの便利さ」が44.0%の順となっています。

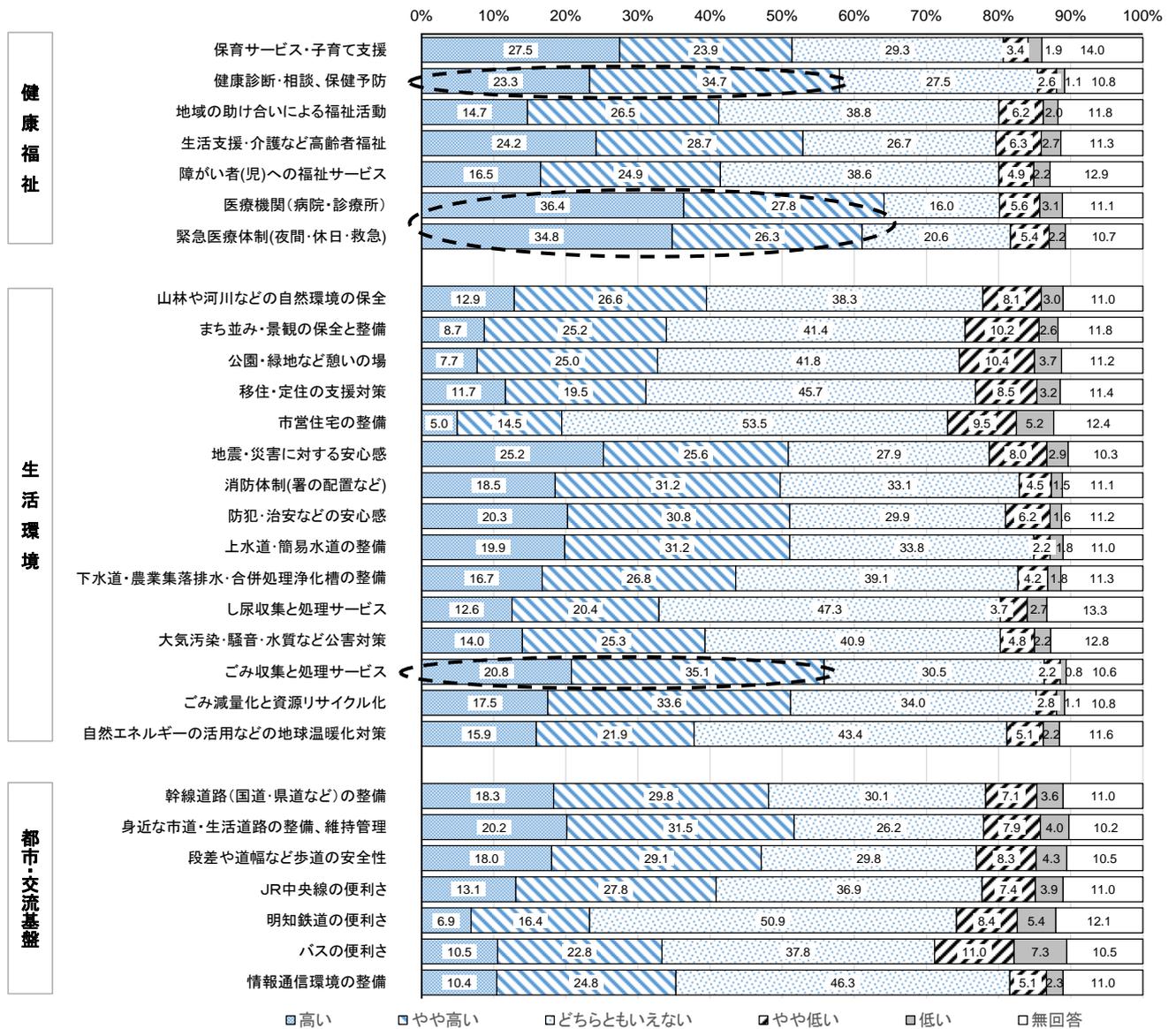


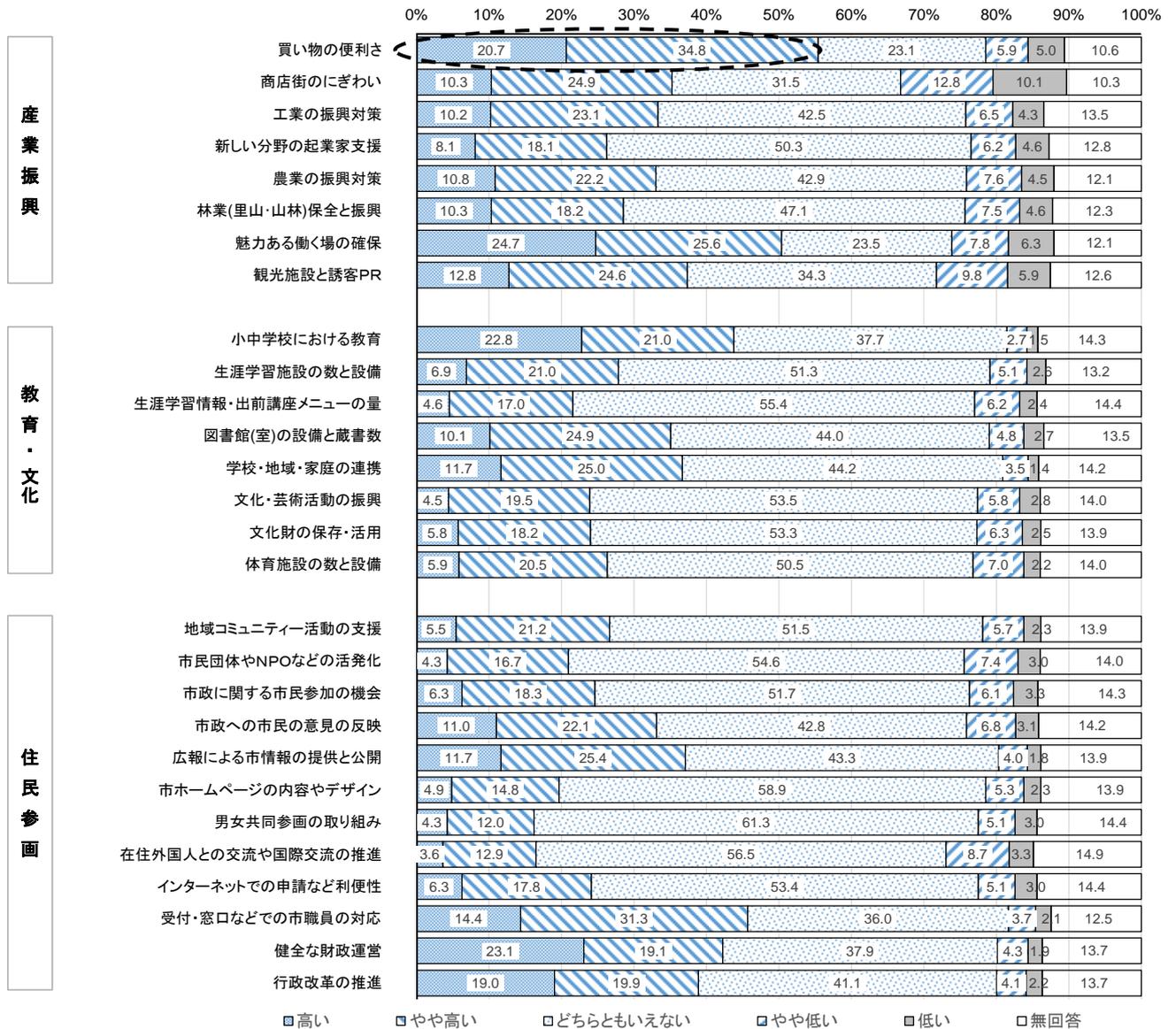


(2) 全 57 施策の重要度(今回調査一覧)

問9 「1」～「57」のすべての項目について(1)『満足度』の1～5の中から1つに○印、(2)『重要度』の1～5の中から1つに○印を付けてください。(単数回答)

重要度(「高い」と「やや高い」の合算)の高い施策は、「医療機関(病院・診療所)」が64.1%と最も高い割合となっており、次いで「救急医療体制(夜間・休日・救急)」が61.1%、「健康診断・相談、保健予防」が58.0%、「ごみ収集と処理サービス」が55.8%、「買い物の便利さ」が55.4%の順となっています。



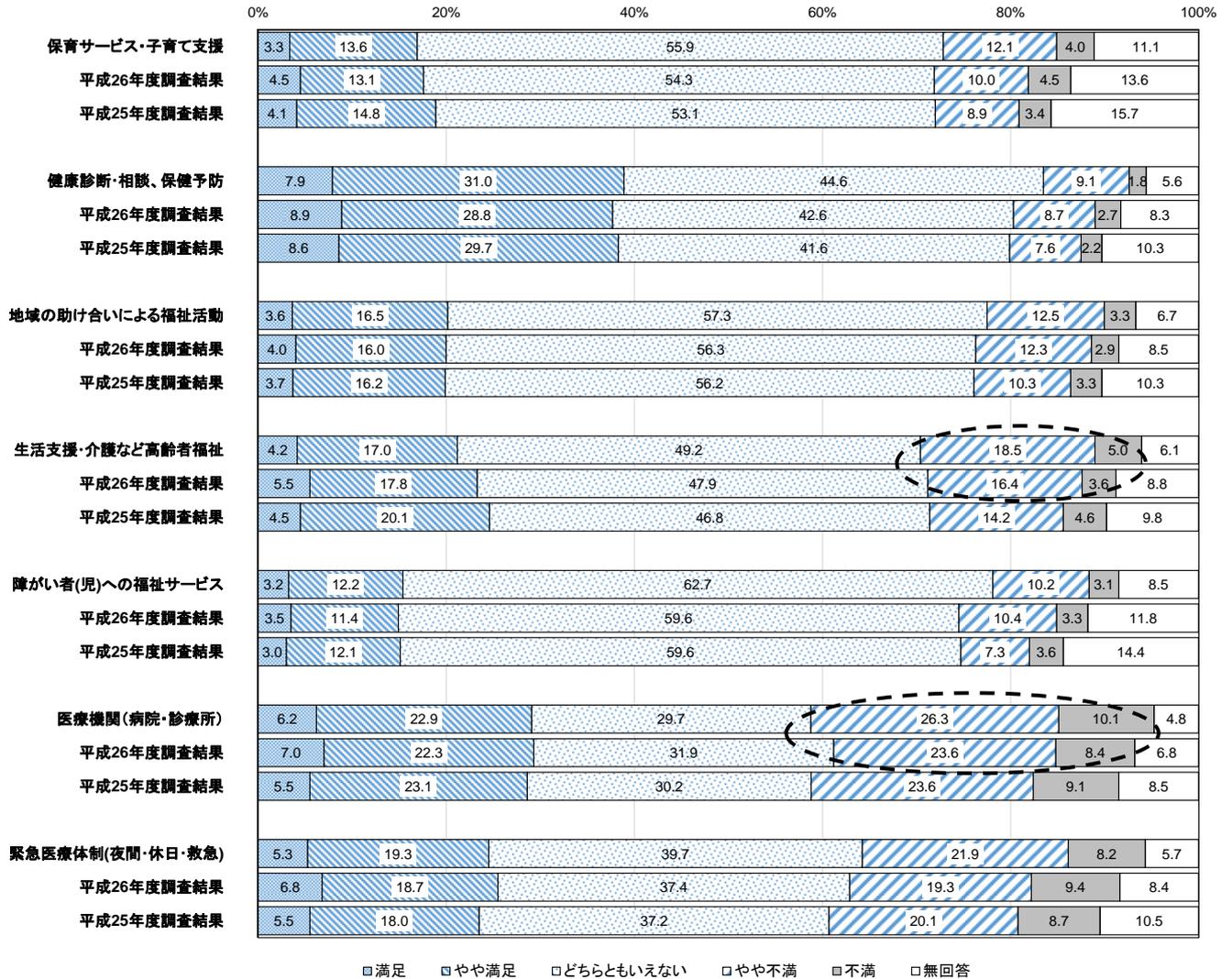


3 分野別施策満足度の経年比較について

(1) 健康福祉分野

健康福祉分野の満足度を前年度と比較すると、ほとんど変化がありませんでした。不満度を前年度と比較すると、「生活支援・介護など高齢者福祉」で3.5ポイント、「医療機関(病院・診療所)」で4.5ポイント上昇しています。

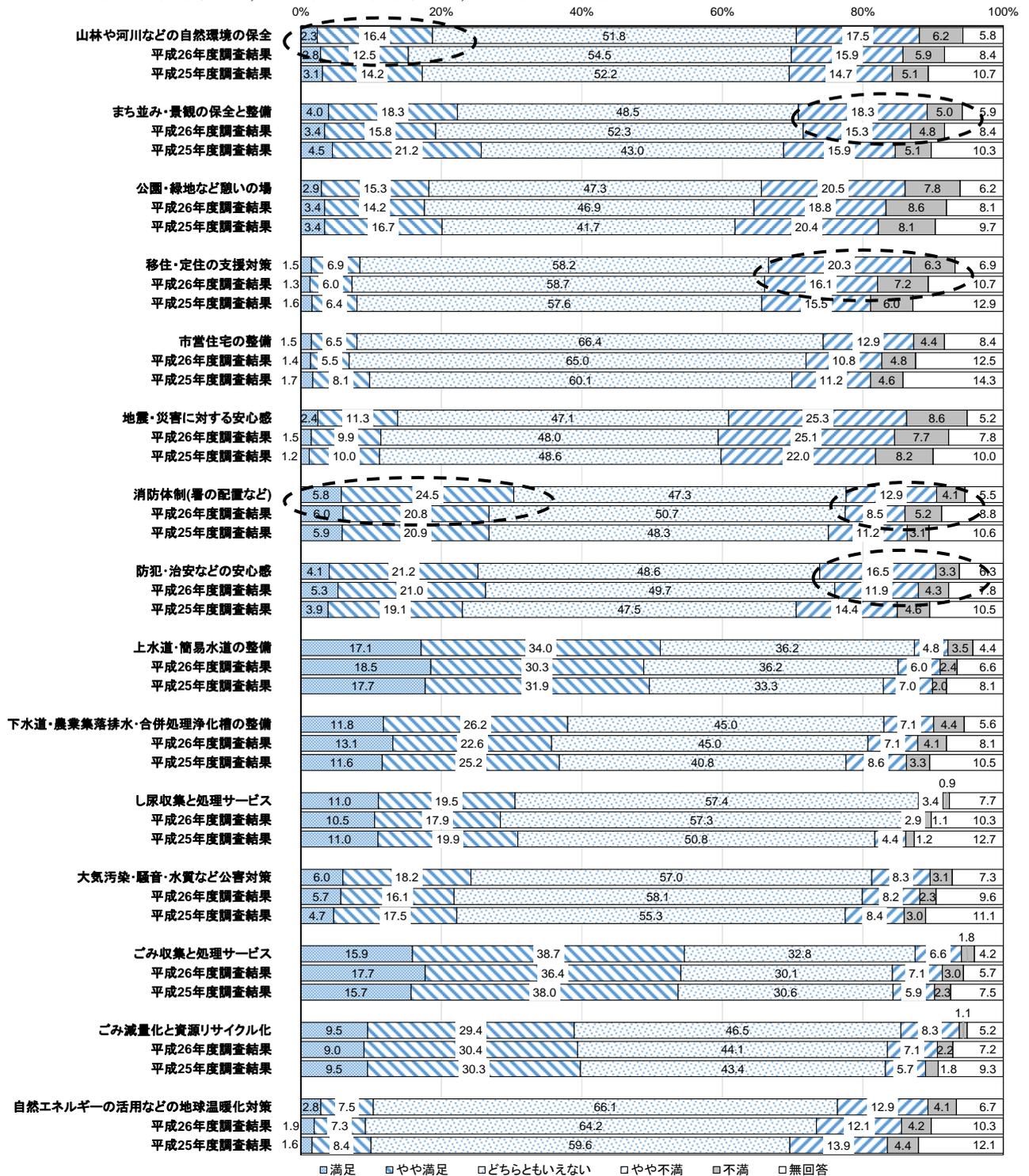
n=987(平成27年度)、n=1,451(平成26年度)、n=1,375(平成25年度)



(2) 生活環境分野

生活環境分野の満足度を前年度と比較すると、「消防体制（署の配置など）」で3.5ポイント上昇し、「山林や河川などの自然環境の保全」で3.4ポイント上昇しています。不満度を前年度と比較すると、「防犯・治安などの安心感」で3.7ポイント上昇し、「まち並み・景観の保全と整備』『移住・定住の支援対策』『消防体制（署の配置など)』で3.2ポイント上昇しています。

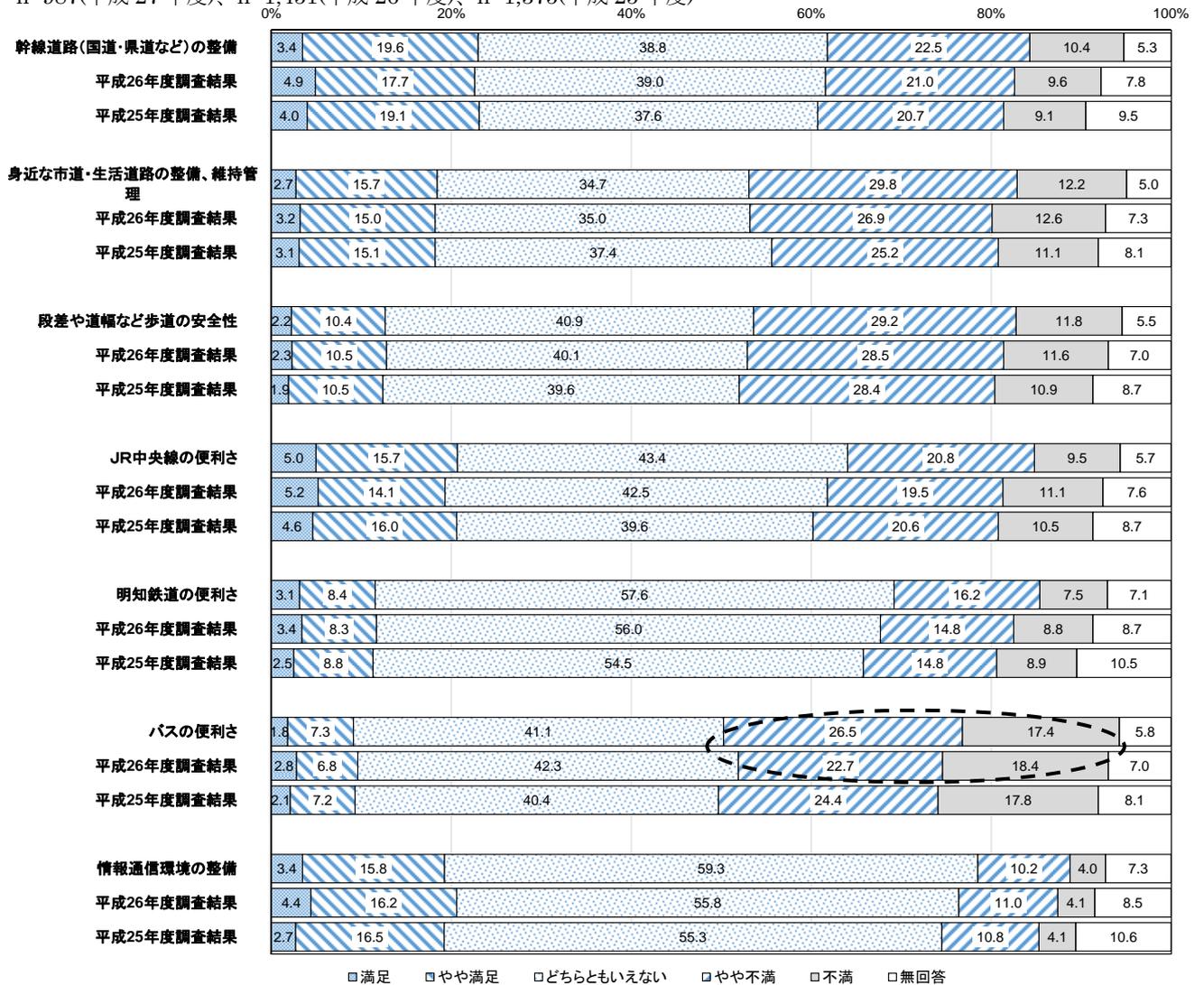
n=987(平成 27 年度)、n=1,451(平成 26 年度)、n=1,375(平成 25 年度)



(3) 都市・交流基盤分野

都市・交通基盤分野の満足度を前年度と比較すると、ほとんど変化がありませんでした。不満度を前年度と比較すると、「バスの便利さ」で2.9ポイント上昇しています。

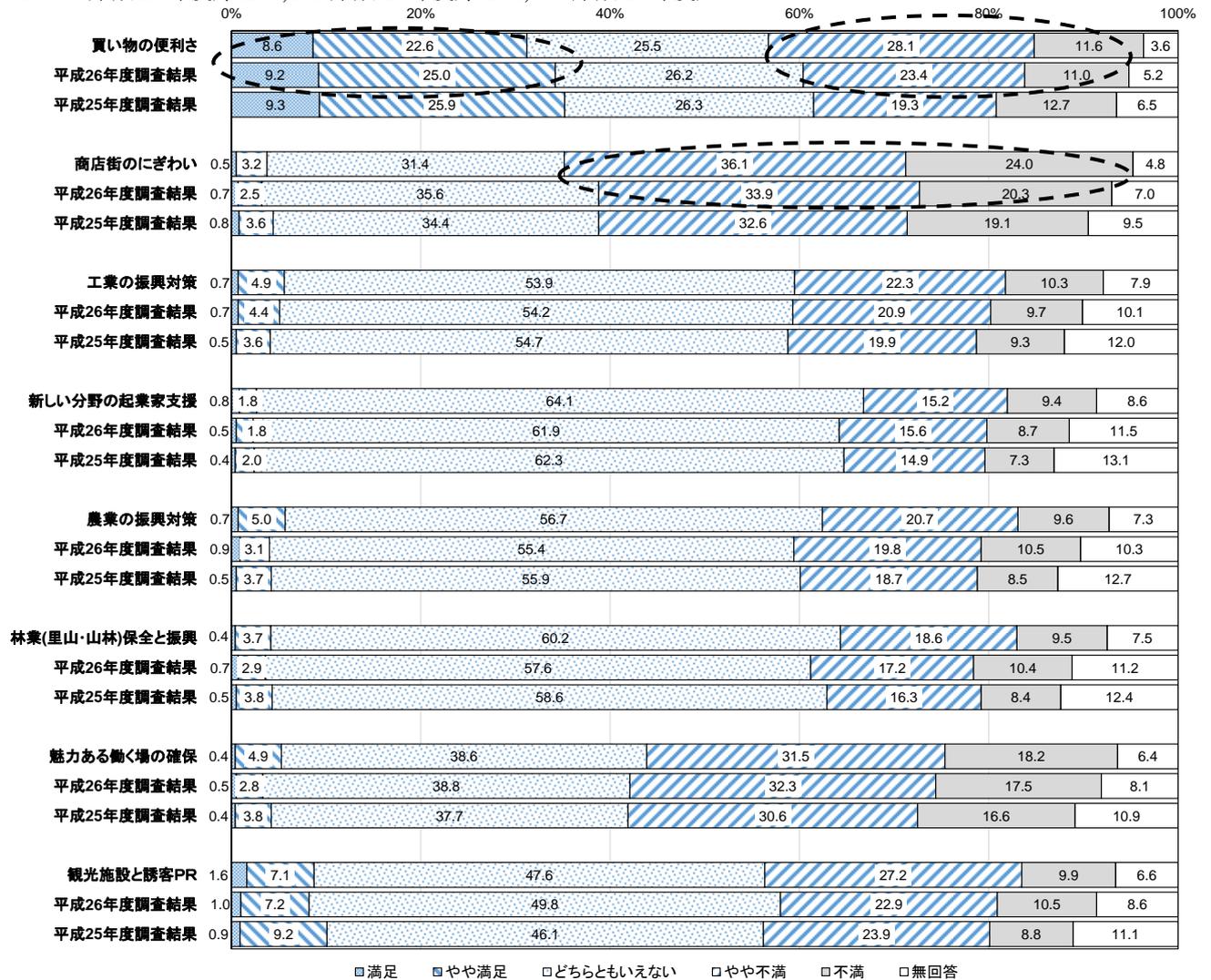
n=987(平成27年度)、n=1,451(平成26年度)、n=1,375(平成25年度)



(4) 産業振興分野

産業振興分野の満足度を前年度と比較すると、「買い物の便利さ」で3.0ポイント低下しています。また、不満度を前年度と比較すると、「買い物の便利さ」で5.2ポイント上昇し、「商店街のにぎわい」で5.9ポイント上昇しています。

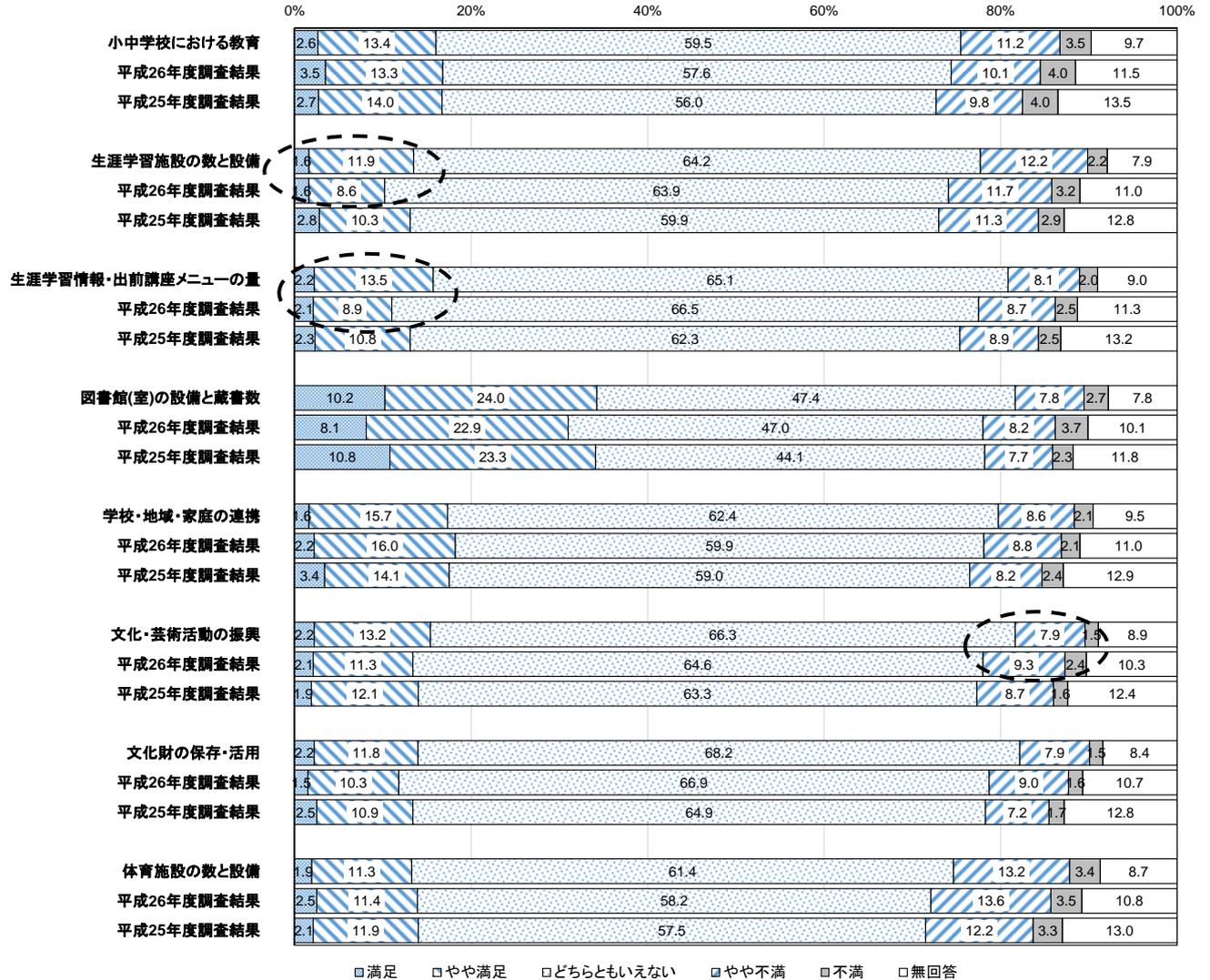
n=987(平成27年度)、n=1,451(平成26年度)、n=1,375(平成25年度)



(5) 教育・文化分野

教育・文化分野の満足度を前年度と比較すると、「生涯学習施設の数と設備」で3.3ポイント上昇し、「生涯学習情報・出前講座メニューの量」で4.7ポイント上昇しています。不満度を前年度と比較すると、「文化・芸術活動の振興」で2.3ポイント低下しています。

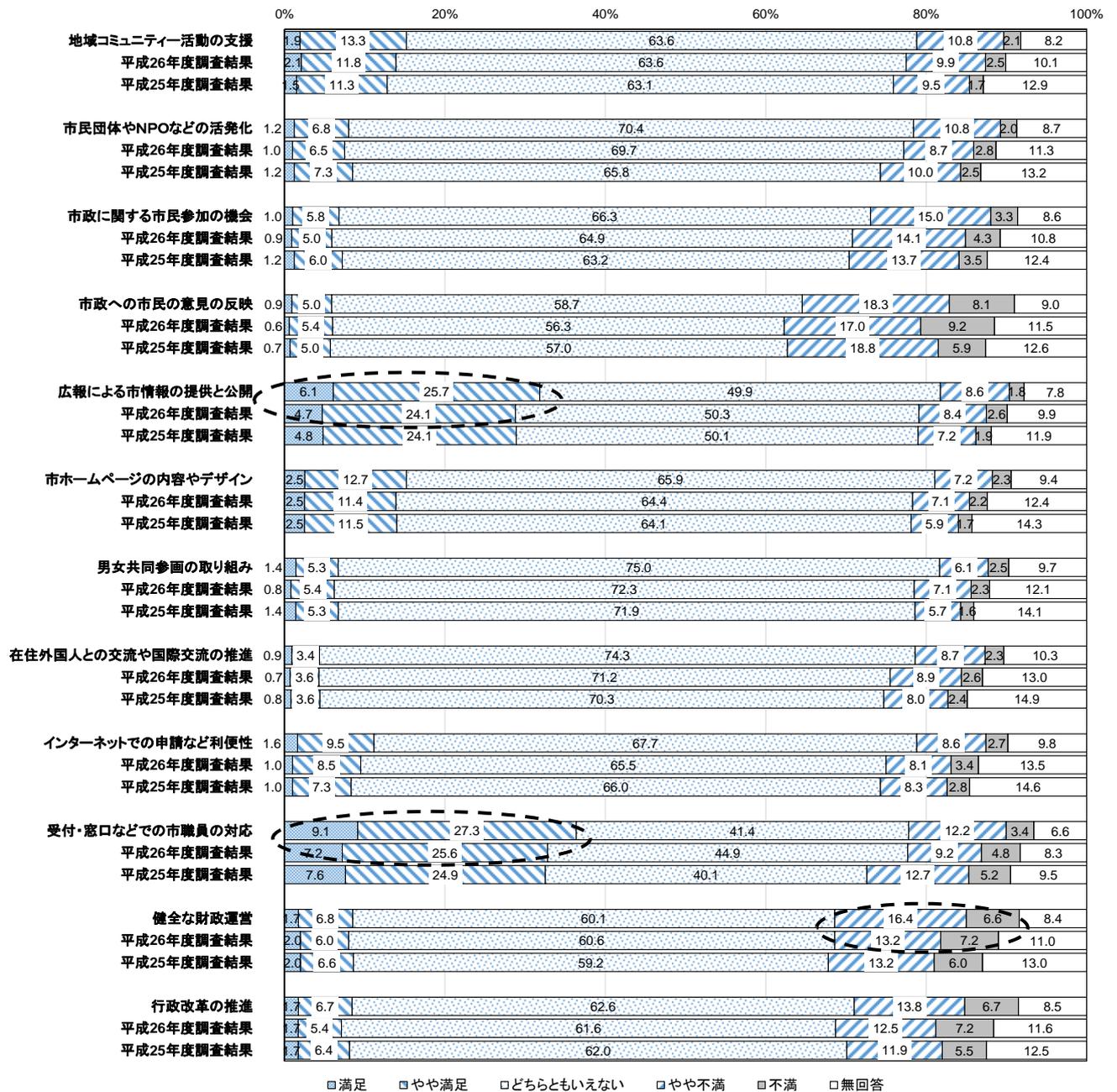
n=987(平成27年度)、n=1,451(平成26年度)、n=1,375(平成25年度)



(6) 住民参画分野

住民参画分野の満足度を前年度と比較すると、「広報による市情報の提供と公開」で3.0ポイント上昇し、「受付・窓口などでの市職員の対応」で3.6ポイント上昇しています。不満度を前年度と比較すると、「健全な財政運営」で2.6ポイント上昇しています。

n=987(平成27年度)、n=1,451(平成26年度)、n=1,375(平成25年度)

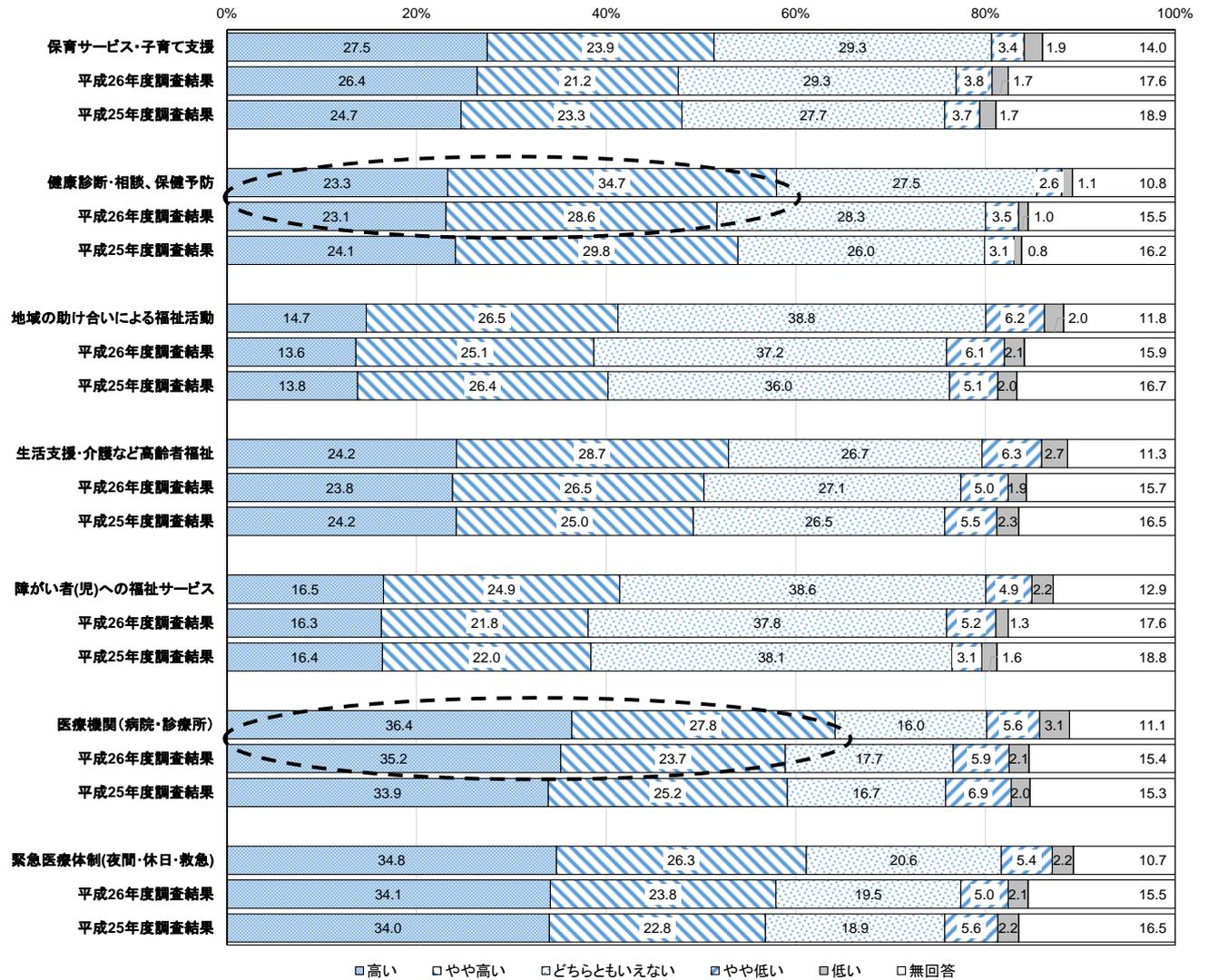


4 分野別施策重要度の経年比較について

(1) 健康福祉分野

健康福祉分野の重要度を前年度と比較すると、「健康診断・相談、保健予防」で6.3ポイント上昇し、「医療機関（病院・診療所）」で5.2ポイント上昇しています。

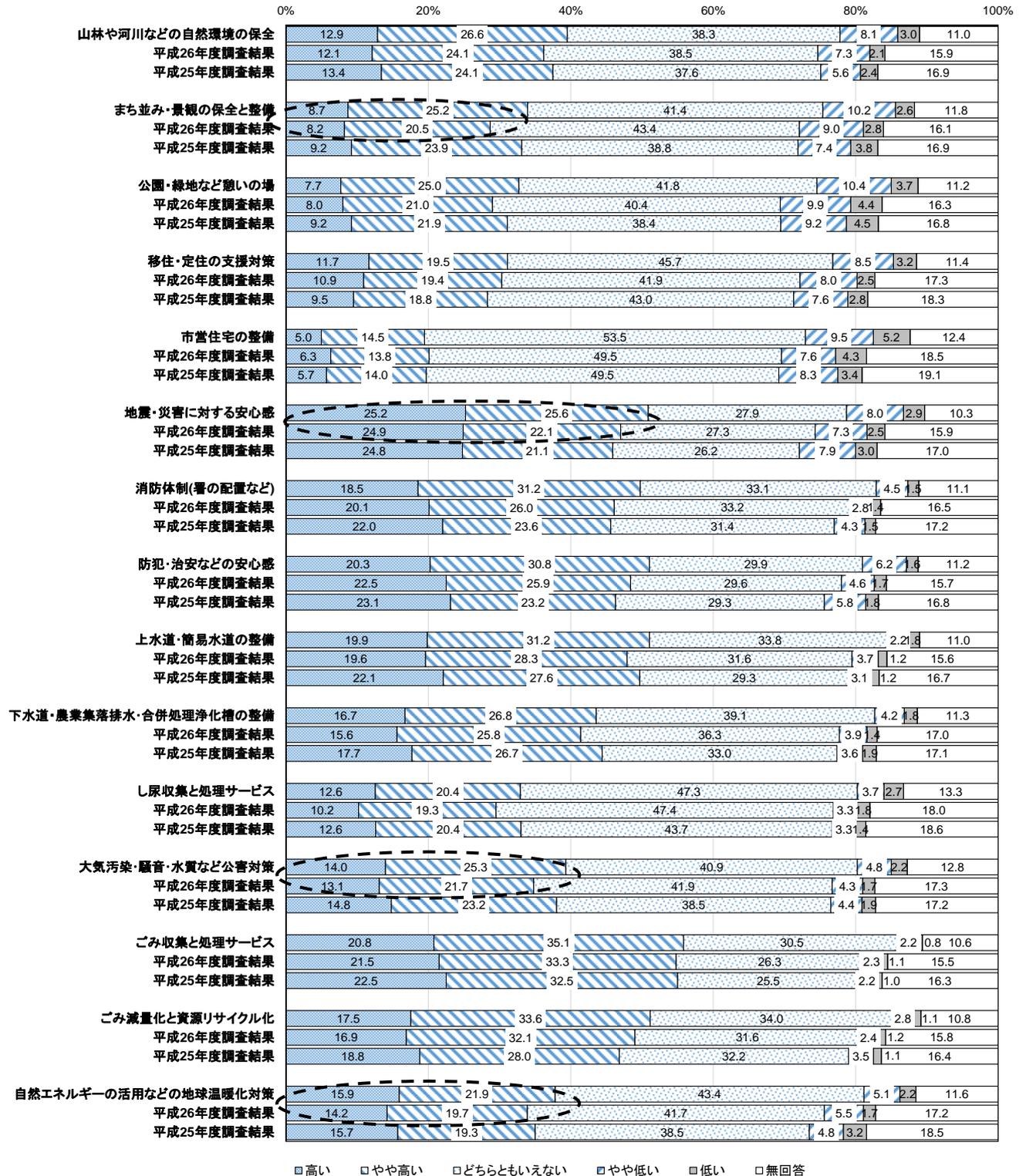
n=987(平成27年度)、n=1,451(平成26年度)、n=1,375(平成25年度)



(2) 生活環境分野

生活環境分野の重要度を前年度と比較すると、「まち並み・景観の保全と整備」で5.2ポイント、「大気汚染・騒音・水質など公害対策」で4.5ポイント、「地震・災害に対する安心感」「自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策」で3.9ポイント上昇しています。

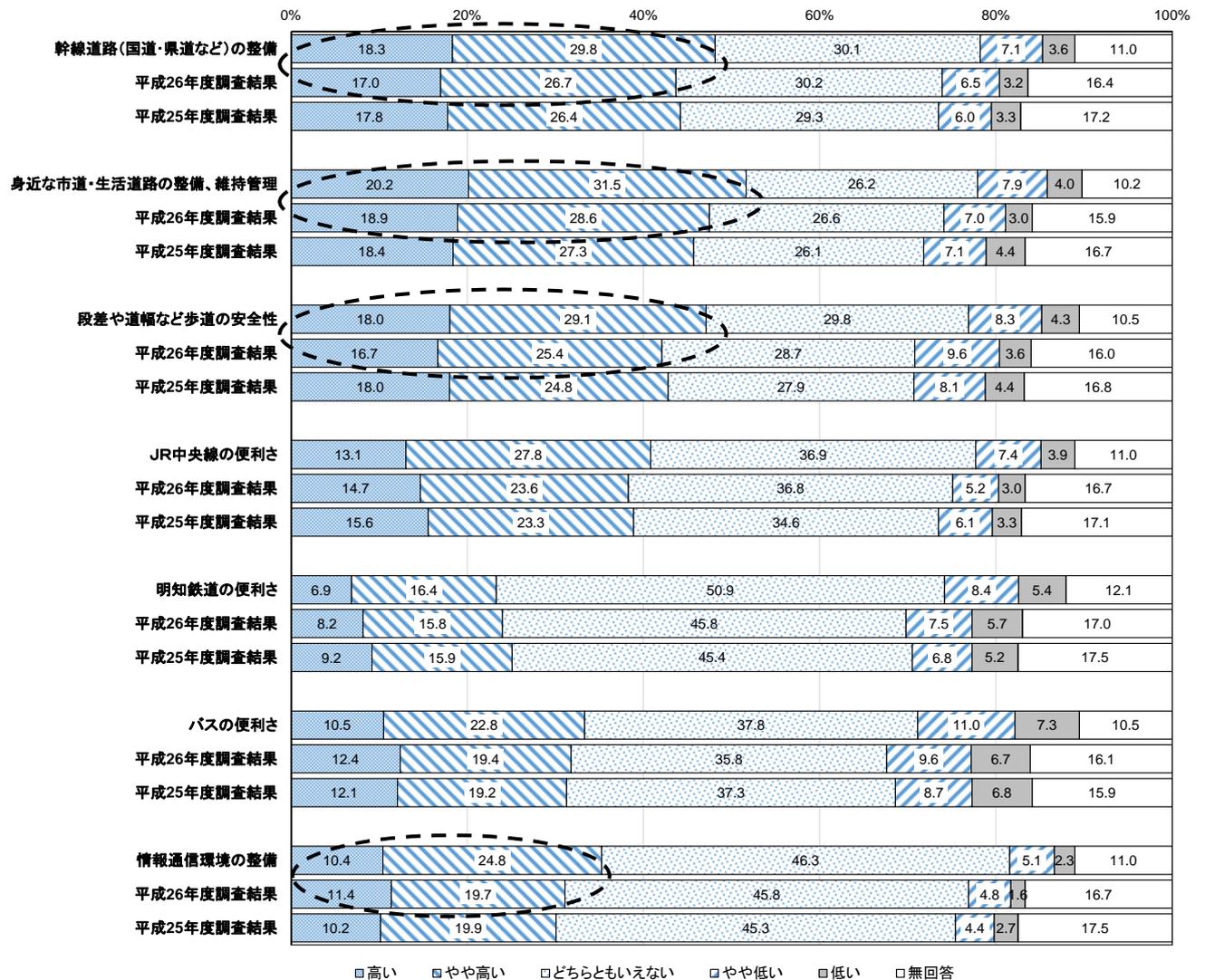
n=987(平成 27 年度)、n=1,451(平成 26 年度)、n=1,375(平成 25 年度)



(3) 都市・交流基盤分野

都市・交流基盤分野の重要度を前年度と比較すると、「幹線道路（国道・県道など）の整備」4.4ポイント、「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」「情報通信環境の整備」で4.2ポイント、「段差や道幅など歩道の安全性」で5.0ポイント上昇しています。

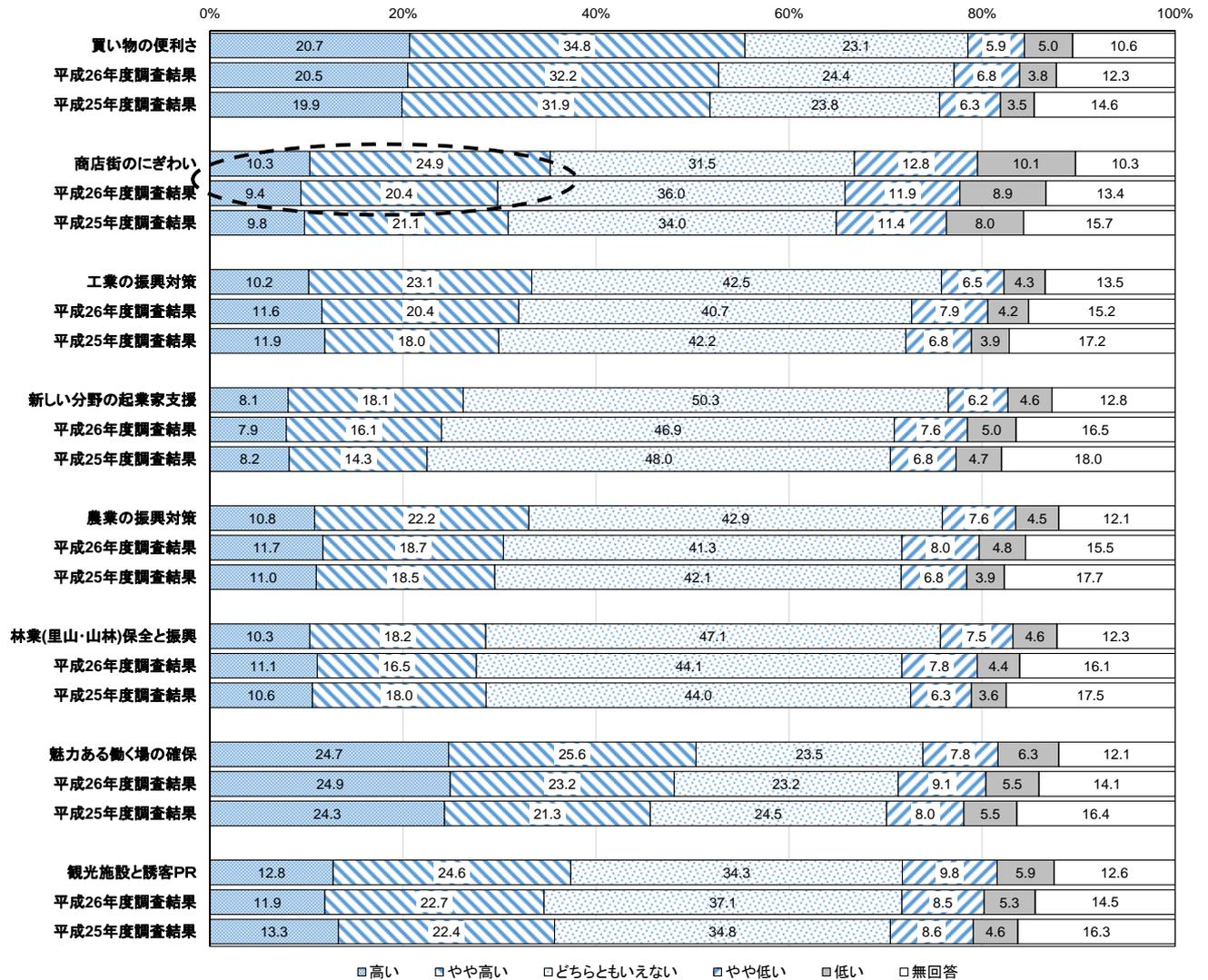
n=987(平成27年度)、n=1,451(平成26年度)、n=1,375(平成25年度)



(4) 産業振興分野

産業振興分野の重要度を前年度と比較すると、「商店街のにぎわい」で5.5ポイント上昇しています。

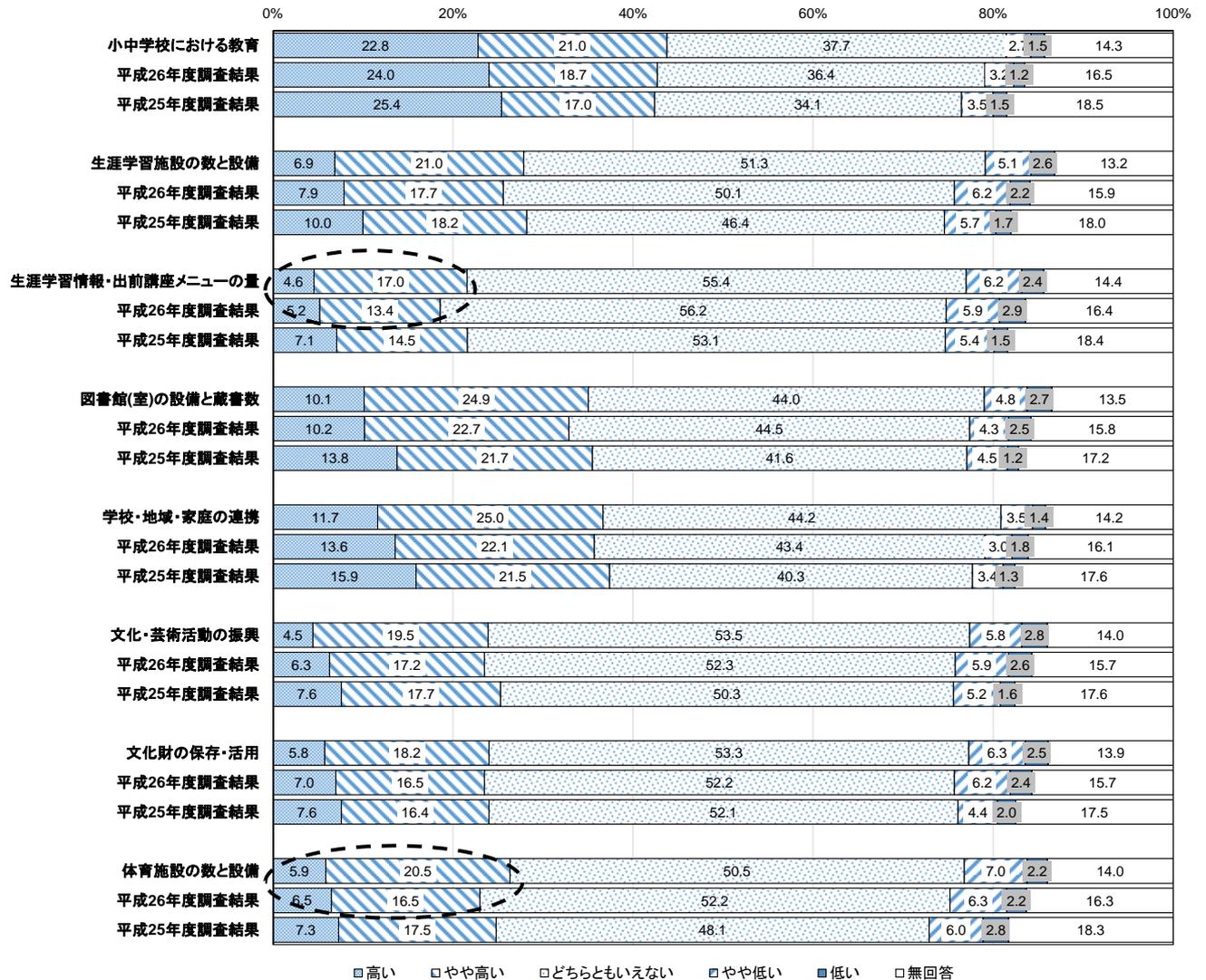
n=987(平成27年度)、n=1,451(平成26年度)、n=1,375(平成25年度)



(5) 教育・文化分野

教育・文化分野の重要度を前年度と比較すると、「生涯学習情報・出前講座メニューの量」で3.0ポイント、「体育施設の数と設備」で3.3ポイント上昇しています。

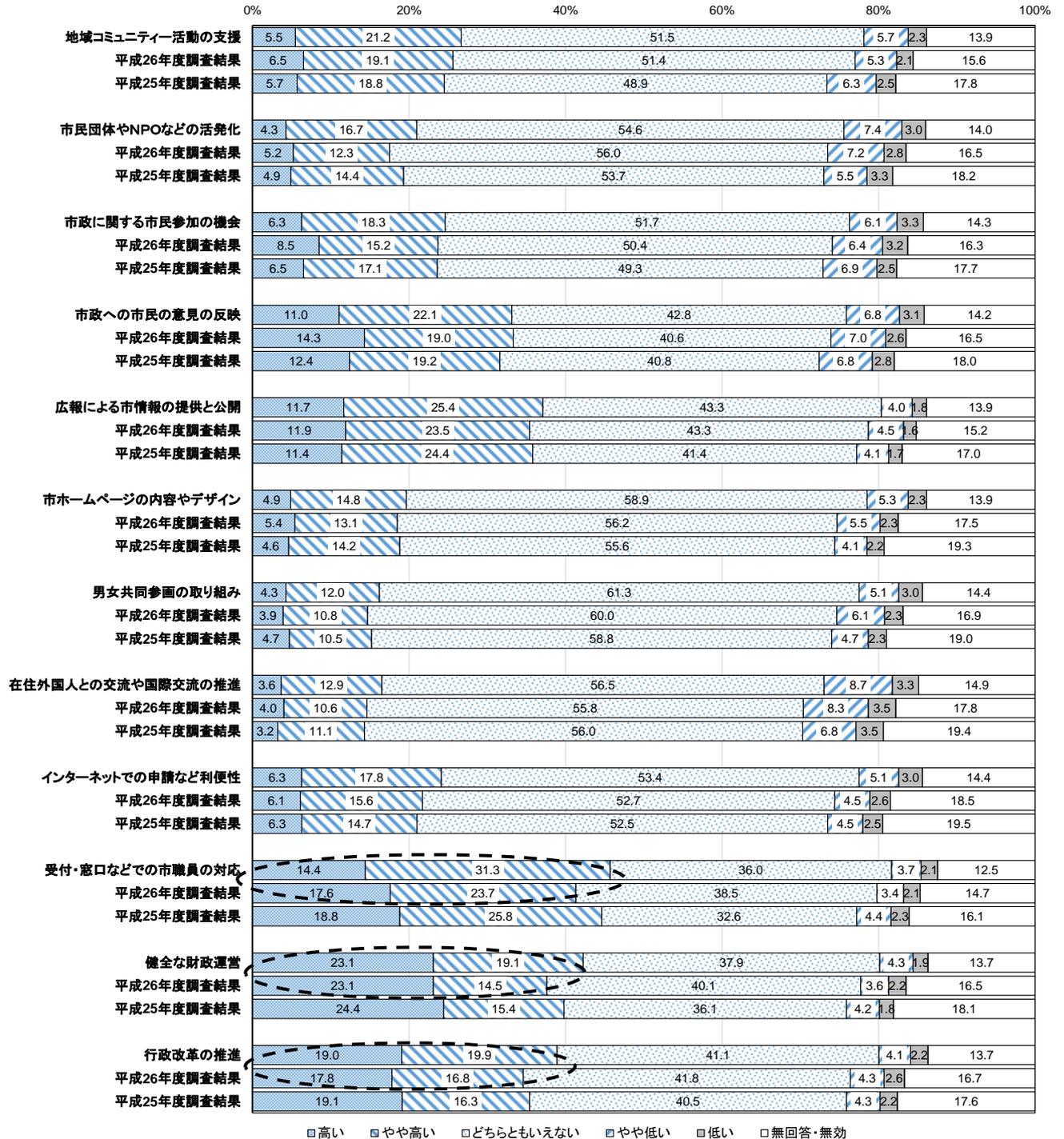
n=987(平成27年度)、n=1,451(平成26年度)、n=1,375(平成25年度)



(6) 住民参画分野

住民参画分野の重要度を前年度と比較すると、「受付・窓口などでの市職員の対応」で4.4ポイント、「健全な財政運営」で4.6ポイント、「行政改革の推進」で4.3ポイント上昇しています。

n=987(平成27年度)、n=1,451(平成26年度)、n=1,375(平成25年度)



5 求められるまちづくりの方向性について

(1) 満足度・不満度・重要度の上位10項目

満足度の高い施策では、「生活環境」の分野が上位5項目のうち4項目を占めています。一方、不満度の高い施策では、「産業振興」、「都市・交流基盤」の分野で上位10項目中8項目を占めており、にぎわいや働く場、交通の利便性向上が求められていると考えられます。

重要度の高い施策では、「健康福祉」の分野が上位10項目のうち5項目を占めており、健康に関する関心が高まっていると考えられます。

◇満足度の高い施策

| 順位 | 施策名 | 今回 | 前回(平成26年度) |
|----|-----------------------|---------|------------|
| 1 | ごみ収集と処理サービス | 54.6【↑】 | 54.1(1) |
| 2 | 上水道・簡易水道の整備 | 51.2【↑】 | 48.8(2) |
| 3 | 健康診断・相談、保健予防 | 38.9【↑】 | 37.7(4) |
| 4 | ごみ減量化と資源リサイクル化 | 38.9【↓】 | 39.4(3) |
| 5 | 下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備 | 38.0【↑】 | 35.7(5) |
| 6 | 受付・窓口などでの市職員の対応 | 36.4【↑】 | 32.8(7) |
| 7 | 図書館(室)の設備と蔵書数 | 34.2【↑】 | 31.0(8) |
| 8 | 広報による市情報の提供と公開 | 31.8【↑】 | 28.8(10) |
| 9 | 買い物の便利さ | 31.2【↓】 | 34.2(6) |
| 10 | し尿収集と処理サービス | 30.5【↑】 | 28.4(11) |

◇不満度の高い施策

| 順位 | 施策名 | 今回 | 前回(平成26年度) |
|----|--------------------|---------|------------|
| 1 | 商店街のにぎわい | 60.1【↑】 | 54.2(1) |
| 2 | 魅力ある働く場の確保 | 49.7【↓】 | 49.8(2) |
| 3 | バスの便利さ | 44.0【↑】 | 41.1(3) |
| 4 | 身近な市道・生活道路の整備、維持管理 | 41.9【↑】 | 39.5(5) |
| 5 | 段差や道幅など歩道の安全性 | 40.9【↑】 | 40.1(4) |
| 6 | 買い物の便利さ | 39.6【↑】 | 34.4(6) |
| 7 | 観光施設と誘客PR | 37.1【↑】 | 33.4(7) |
| 8 | 医療機関(病院・診療所) | 36.5【↑】 | 32.0(9) |
| 9 | 地震・災害に対する安心感 | 33.9【↑】 | 32.8(8) |
| 10 | 幹線道路(国道・県道など)の整備 | 32.9【↑】 | 30.6(10) |

◇重要度の高い施策

| 順位 | 施策名 | 今回 | 前回(平成26年度) |
|----|--------------------|---------|------------|
| 1 | 医療機関(病院・診療所) | 64.1【↑】 | 58.9(1) |
| 2 | 緊急医療体制(夜間・休日・救急) | 61.1【↑】 | 57.9(2) |
| 3 | 健康診断・相談、保健予防 | 58.0【↑】 | 51.7(5) |
| 4 | ごみ収集と処理サービス | 55.8【↑】 | 54.8(3) |
| 5 | 買い物の便利さ | 55.4【↑】 | 52.7(4) |
| 6 | 生活支援・介護など高齢者福祉 | 52.9【↑】 | 50.3(6) |
| 7 | 身近な市道・生活道路の整備、維持管理 | 51.7【↑】 | 47.5(12) |
| 8 | 保育サービス・子育て支援 | 51.4【↑】 | 47.6(11) |
| 9 | ごみ減量化と資源リサイクル化 | 51.2【↑】 | 49.0(7) |
| 10 | 防犯・治安などの安心感 | 51.1【↑】 | 48.4(8) |
| 10 | 上水道・簡易水道の整備 | 51.1【↑】 | 47.9(10) |

※今回調査結果の【 】内は、前回調査時からのポイントの上下を指す。

※前回調査結果の()内は、前回順位を指す。

※同率順位が2番目以上ある場合は、10項目を超える場合あり。(以下同様)

(2) 全施策マトリックス図

全57施策について、満足度、重要度ともに5段階評価での回答を得ました。下記の方法で回答を点数化し、施策の評価を行いました。

[評価手順]

ア. 5段階の評価点を次表のように設定しました。

①満足度

| ① 満足度 | |
|-----------|------|
| 満足 | +2 点 |
| やや満足 | +1 点 |
| どちらともいえない | 0 点 |
| やや不満 | -1 点 |
| 不満 | -2 点 |
| 回答なし | 0 点 |

②重要度

| ② 重要度 | |
|-----------|------|
| 高い | +2 点 |
| やや高い | +1 点 |
| どちらともいえない | 0 点 |
| やや低い | -1 点 |
| 低い | -2 点 |
| 回答なし | 0 点 |

イ. 評価指数を次の式により算出しました。

(満足度)

評価指数 = (2点) × 「満足」の回答者数の割合 + (1点) × 「やや満足」の回答者数の割合 + (-1点) × 「やや不満」の回答者数の割合 + (-2点) × 「不満」の回答者数の割合

(重要度)

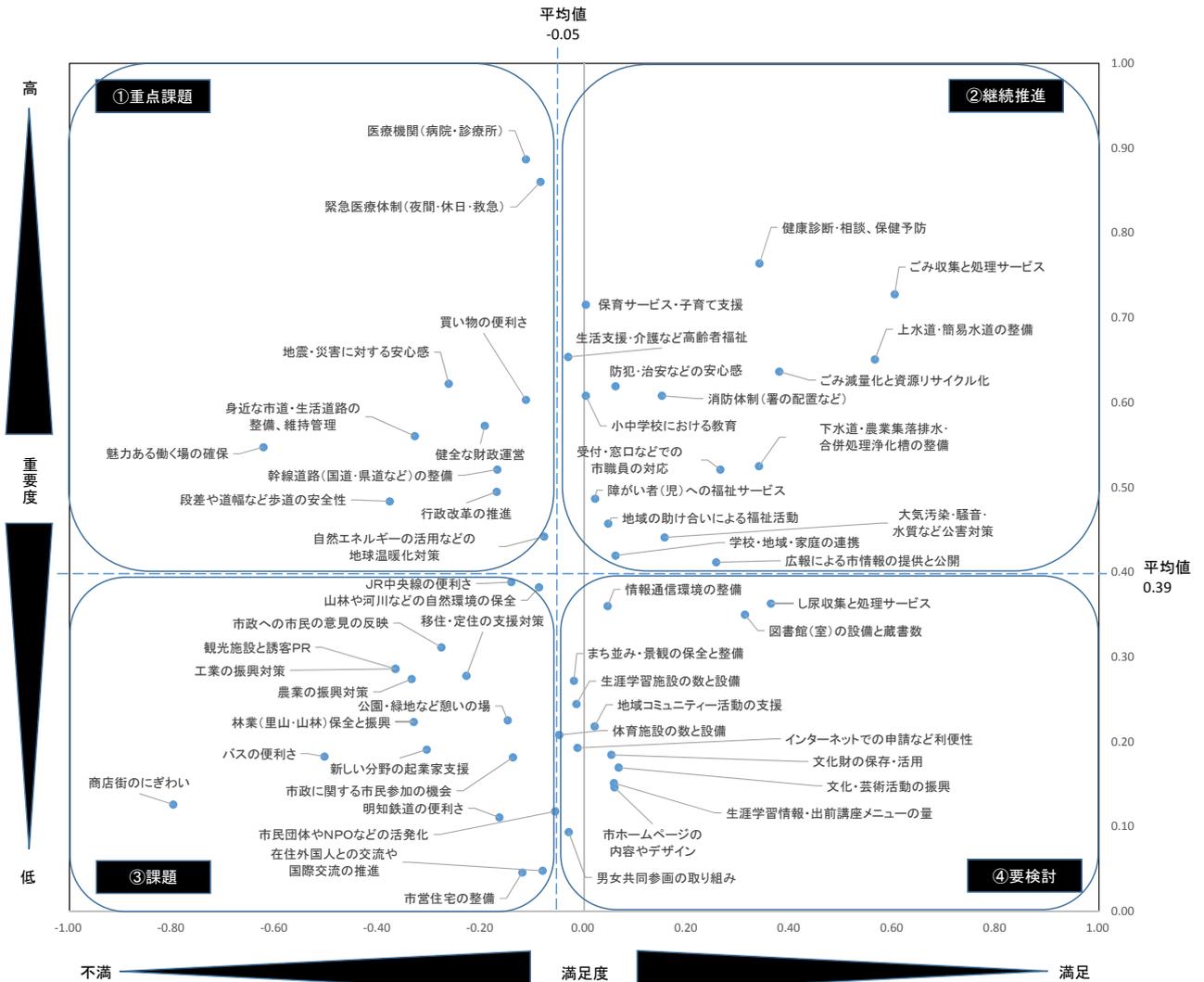
評価指数 = (2点) × 「高い」の回答者数の割合 + (1点) × 「やや高い」の回答者数の割合 + (-1点) × 「やや低い」の回答者数の割合 + (-2点) × 「低い」の回答者数の割合

ウ. 全57施策の満足度及び重要度を指数化し、分布させた2軸のマトリックスを用いました。満足度指数及び重要度指数の平均値で区分される「①重点課題」「②継続推進」「③課題」「④ 要検討」の4領域のどこに分布しているかで、各施策の評価を行いました。

| 区分 | 満足度指数 | 重要度指数 | 施策評価の目安 |
|--------|-------|-------|---------------------------|
| ① 重点課題 | 平均未満 | 平均以上 | 最も課題のある施策であり、重点的に推進する |
| ② 継続推進 | 平均以上 | 平均以上 | 継続的に市民の満足度を得られるよう施策を推進する |
| ③ 課題 | 平均未満 | 平均未満 | 課題のある施策であり、必要性を検証し施策を推進する |
| ④ 要検討 | 平均以上 | 平均未満 | 一定の成果が得られており、継続の必要性を検証する |

全57施策の満足度指数の平均は「-0.05」、重要度指数の平均は「0.39」で、各区分に該当する施策は次のとおりです。

重要度が高く、満足度の低い『重点課題』に該当したのは、健康福祉分野の「緊急医療体制（夜間・休日・救急）」「医療機関（病院・診療所）」、生活環境分野の「地震・災害に対する安心感」「自然エネルギーなどの地球温暖化対策」、都市・交流基盤分野の「幹線道路（国道・県道など）の整備」「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」「段差や道幅など歩道の安全性」、産業振興分野の「買い物の便利さ」「魅力ある働く場の確保」、住民参画分野の「健全な財政運営」「行政改革の推進」の11項目です。これらのうち、健康福祉分野の「医療機関（病院・診療所）」及び産業振興分野の「買い物の便利さ」を除き、全て前回調査時の『重点課題』10項目にあった施策であり、満足度の向上につながるよう、今後も重点的な取り組みの推進が求められています。



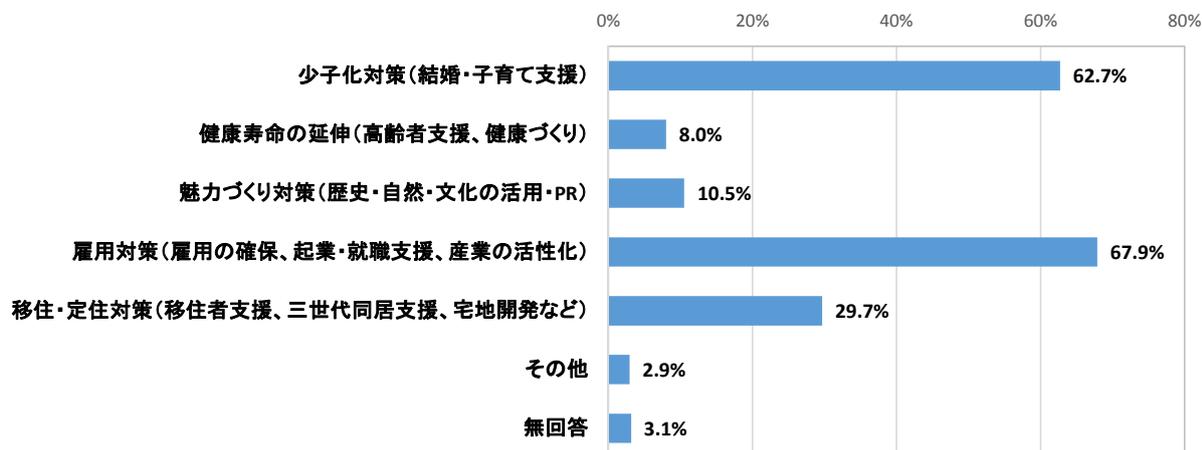
| 区分 | ①重点課題 | ②継続推進 | ③課題 | ④要検討 |
|---------|-------|-------|-----|------|
| 項目数(57) | 11 | 16 | 17 | 13 |

6 個別の施策について

(1) 人口減少対策について

問 10 恵那市の人口減少を食い止めるためには、特に何が重要だと思いますか？
(複数回答：2つまで)

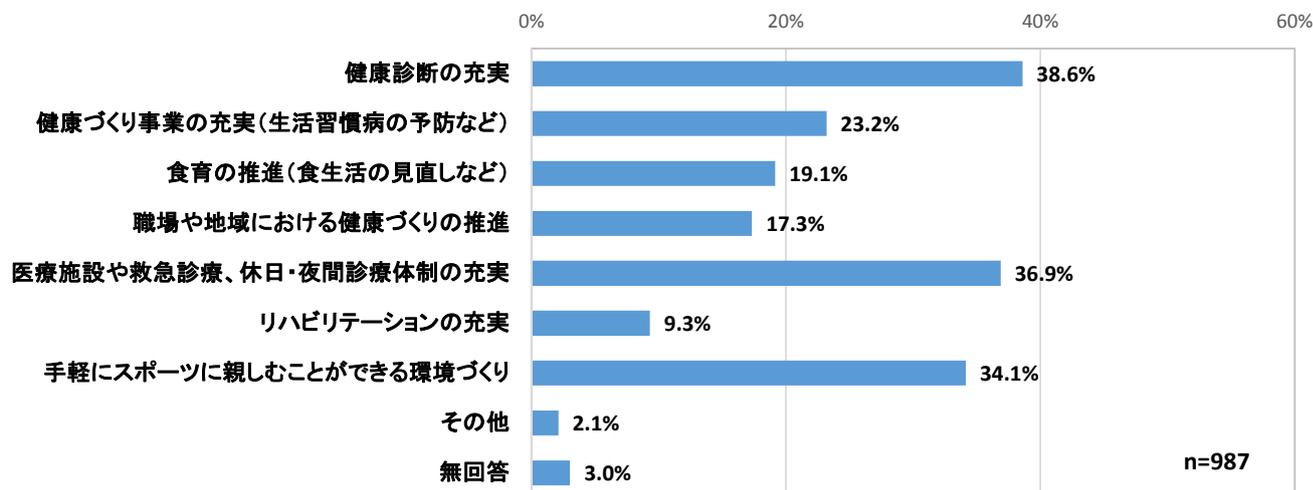
「雇用対策（雇用の確保、起業・就職支援、産業の活性化）が 67.9%と最も多く、次いで「少子化対策（結婚・子育て支援）が 62.7%、「移住・定住対策（移住者支援、三世帯同居支援、宅地開発など）」が 29.7%の順となっています。



(2) 健康づくりについて

問 11 健康づくりを充実するためには、特に何が重要だと思いますか？ (複数回答：2つ)

「健康診断の充実」が 38.6%と最も高く、次いで「医療施設や救急診療、休日・夜間診療体制の充実」が 36.9%、「手軽にスポーツに親しむことができる環境づくり」が 34.1%の順となっています。

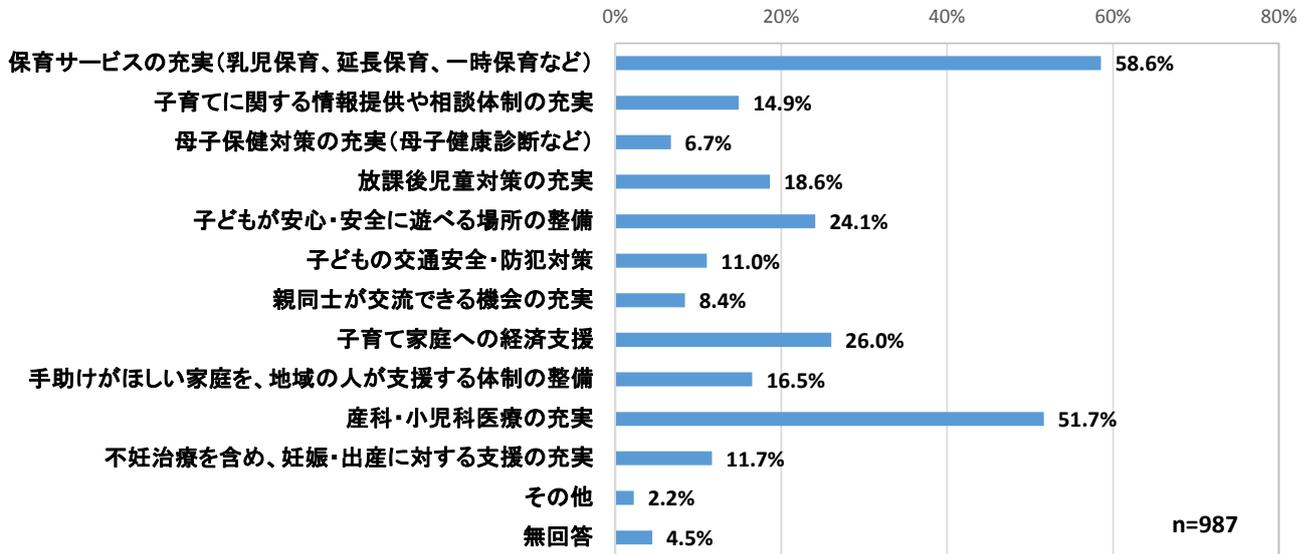


(3) 子育てについて

問 12 安心して子どもを産み育てるためには、特に何が重要だと思いますか？

(複数回答：3つまで)

「保育サービスの充実（乳児保育、延長保育、一時保育など）」が 58.6%と最も高く、次いで「産科・小児科医療の充実」が 51.7%、「子育て家庭への経済支援」が 26.0%の順となっています。

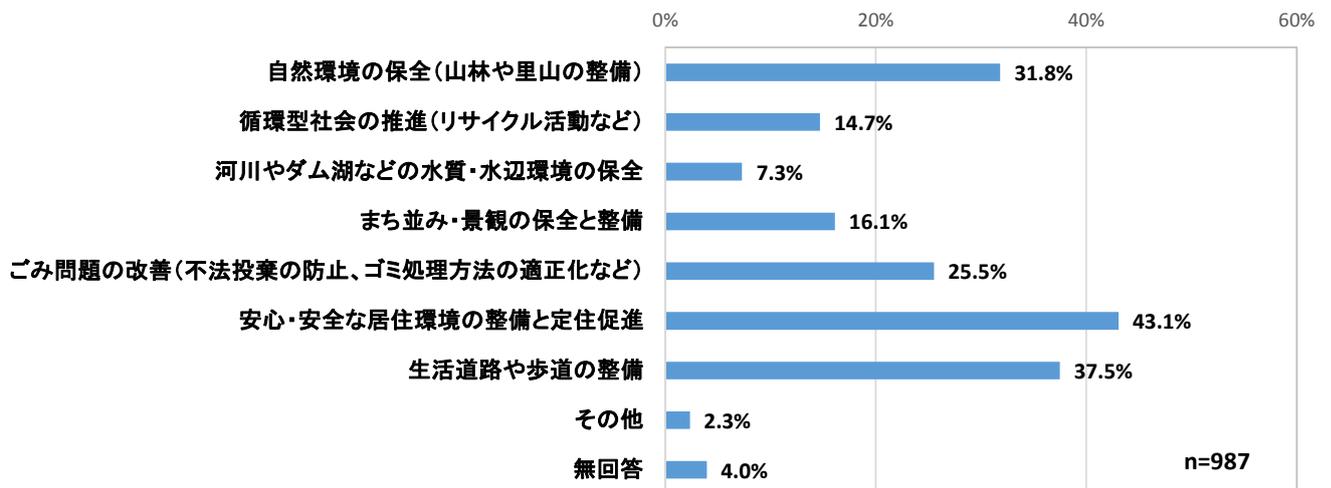


(4) 生活環境について

問 13 生活環境を快適にするためには、特に何が重要だと思いますか？

(複数回答：2つまで)

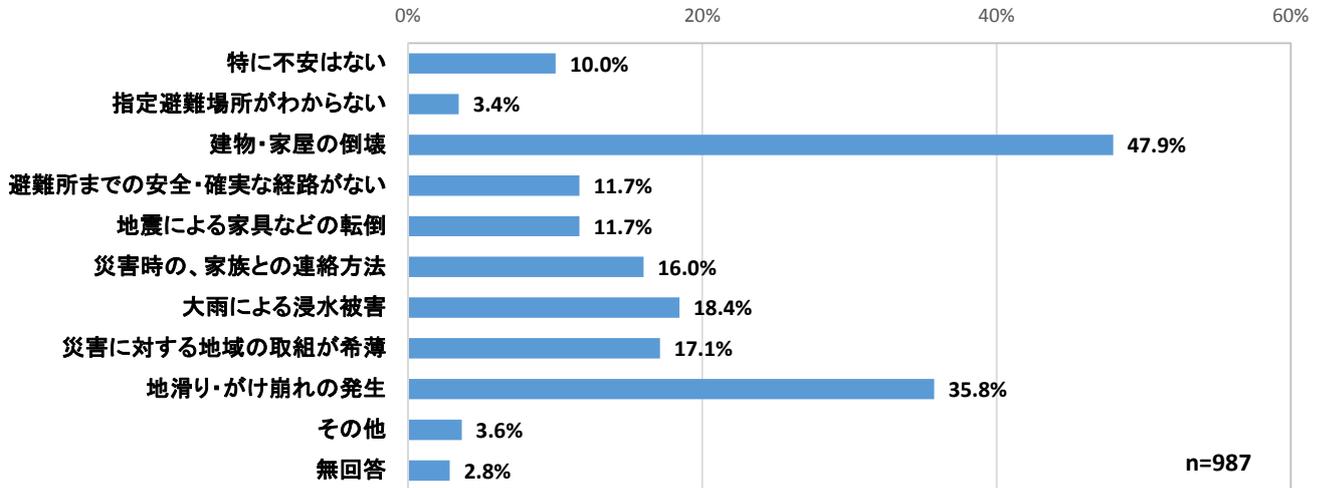
「安心・安全な居住環境の整備と定住促進」が 43.1%と最も高く、次いで「生活道路や歩道の整備」が 37.5%「自然環境の保全（山林や里山の整備）」が 31.8%の順となっています。



(5) 防災・消防について

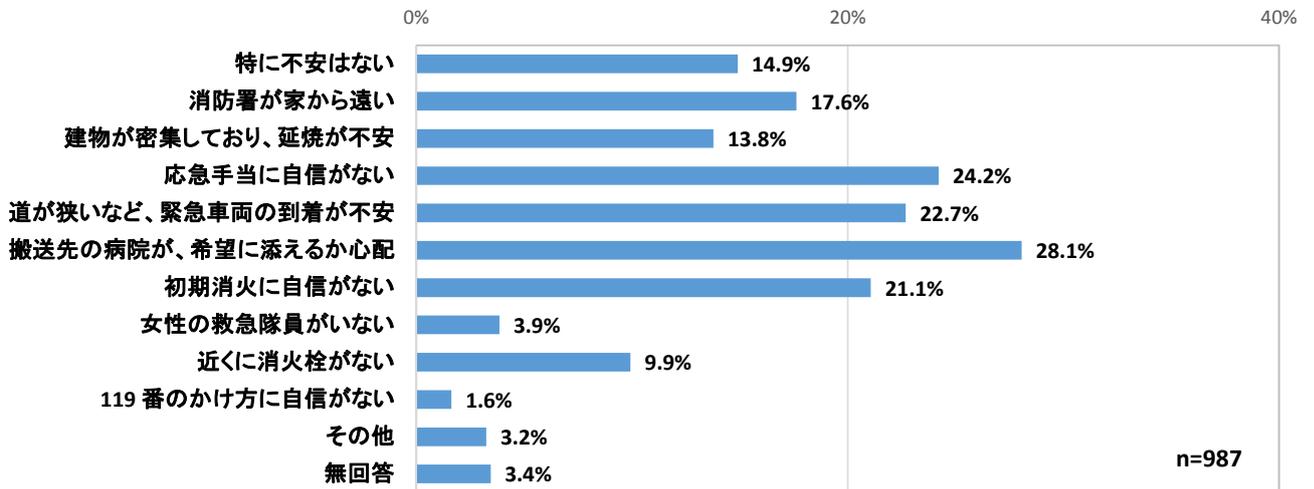
問 14 地震や大雨などの災害について、あなたが特に不安に感じることは何ですか？
(複数回答：2つまで)

「建物・家屋の倒壊」が47.9%と最も高く、次いで「地滑り・がけ崩れの発生」が35.8%、「大雨による浸水被害」が18.4%の順となっています。



問 15 火災や救急について、あなたが特に不安に感じることは何ですか？
(複数回答：2つまで)

「搬送先の病院が、希望に添えるか心配」が28.1%と最も高く、次いで「応急手当に自信がない」が24.2%、「道が狭いなど、緊急車両の到着が不安」が22.7%の順となっています。

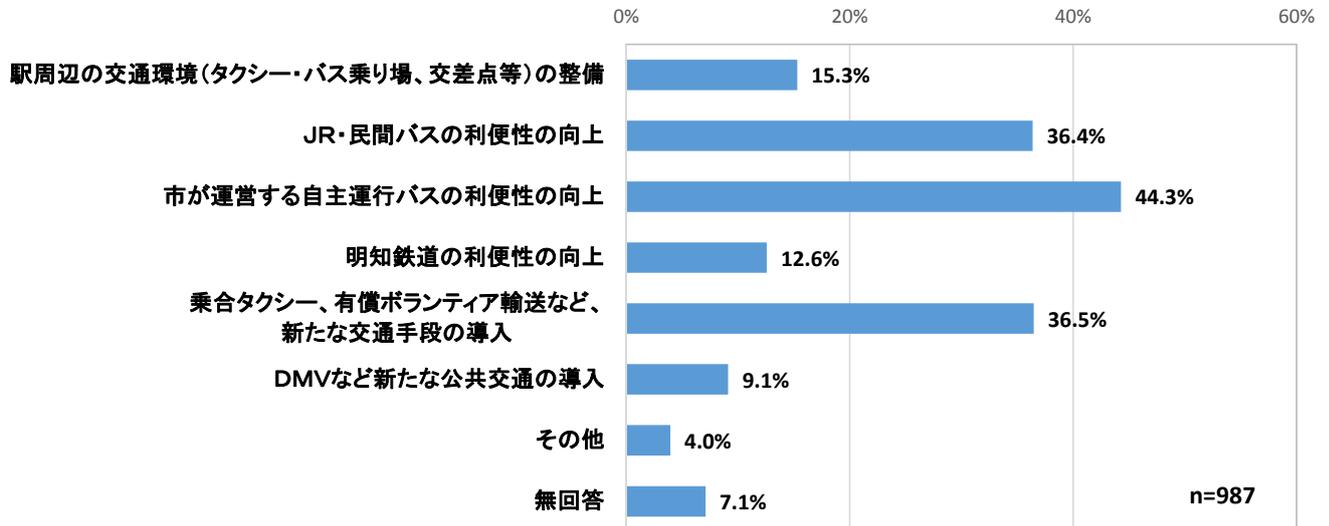


(6) 公共交通について

問 16 公共交通サービスの充実について、あなたが特に望むものは何ですか？

(複数回答：2つまで)

「市が運営する自主運行バスの利便性の向上」が 44.3%と最も高く、次いで「乗合タクシー、有償ボランティア輸送など、新たな交通手段の導入」が 36.5%、「JR・民間バスの利便性の向上」が 36.4%の順となっています。

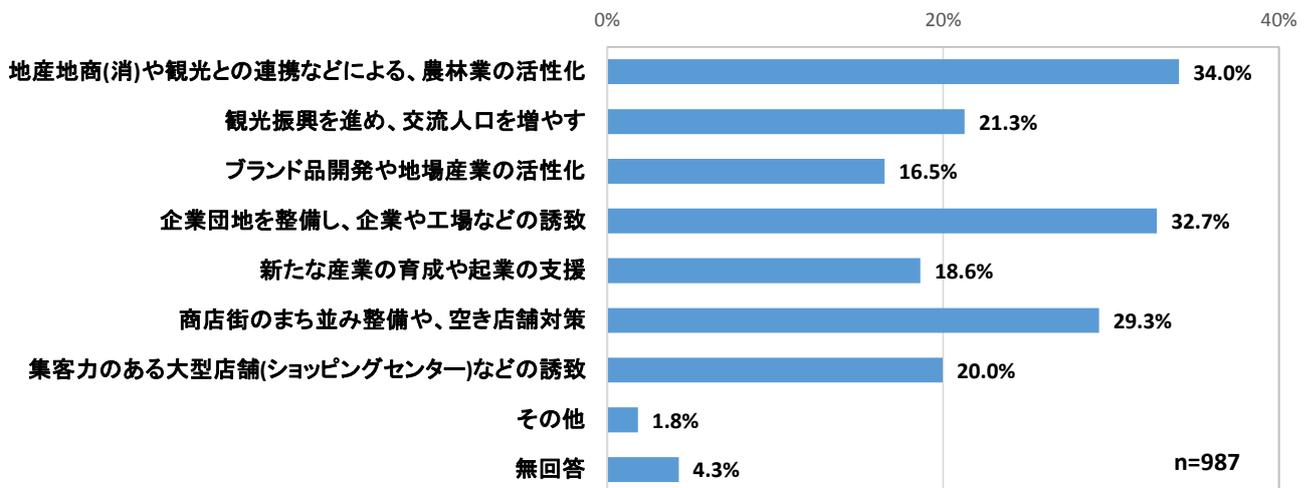


(7) 産業振興について

問 17 「活力あるまち」にするためには、特に何が必要だと思いますか？

(複数回答：2つまで)

「地産地商(消)や観光との連携などによる、農林業の活性化」が 34.0%と最も高く、次いで「企業団地を整備し、企業や工場などの誘致」が 32.7%、「商店街のまち並み整備や、空き店舗対策」が 29.3%の順となっています。

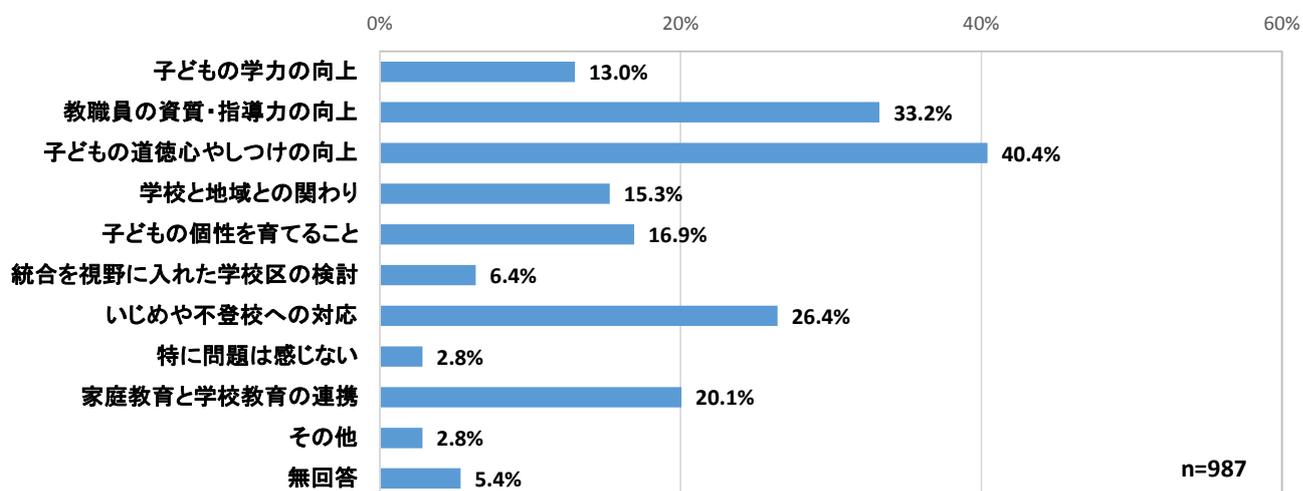


(8) 教育について

問 18 小中学校教育を充実するためには、特に何が必要だと思いますか？

(複数回答：2つまで)

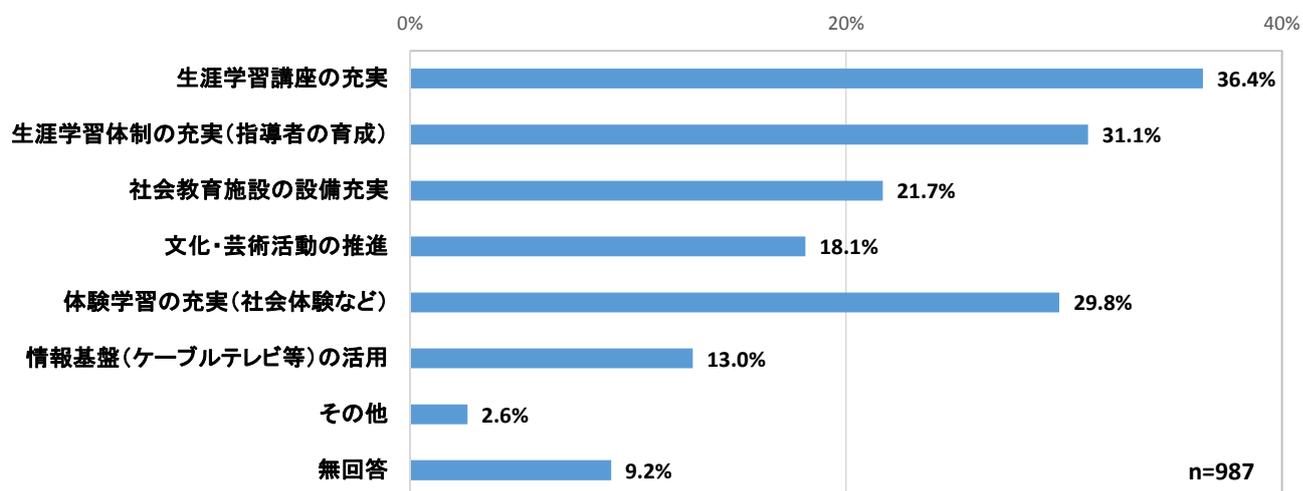
「子どもの道徳心やしつけの向上」が40.4%と最も高く、次いで「教職員の資質・指導力の向上」が33.2%、「いじめや不登校への対応」が26.4%の順となっています。



問 19 生涯学習を充実するためには、特に何が必要だと思いますか？

(複数回答：2つまで)

「生涯学習講座の充実」が36.4%と最も高く、次いで「生涯学習体制の充実（指導者の育成）」が31.1%、「体験学習の充実（社会体験など）」が29.8%の順となっています。

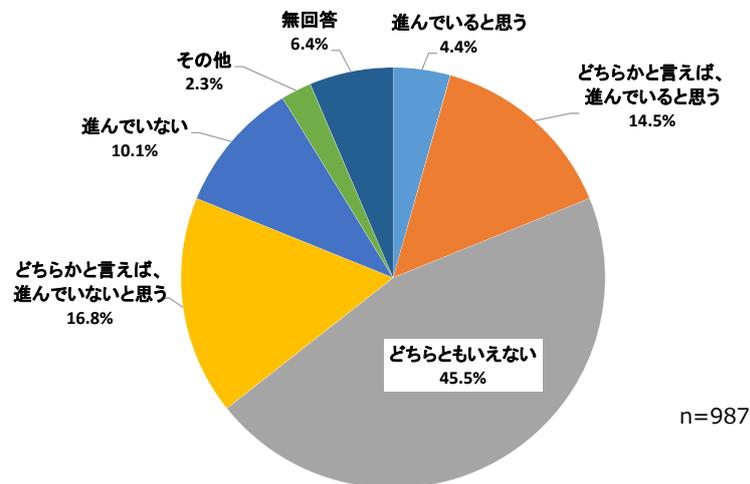


(9) 市民参加や市民協働について

問 20 各地域に地域自治区が設けられるなど、市民と行政の協働による地域づくりが進められつつあります。この市民と行政の新しい関係づくりは進んでいると思いますか？

(単数回答)

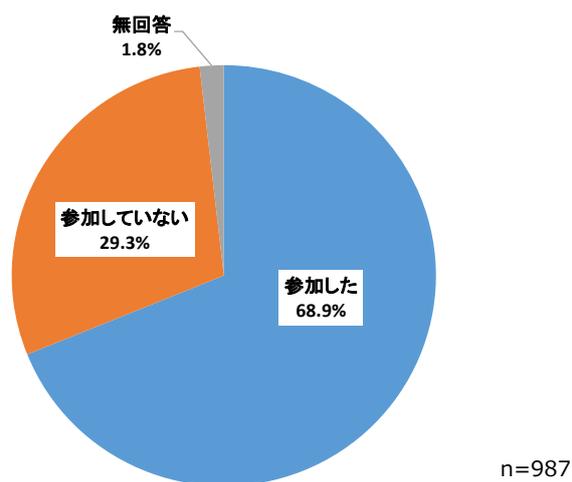
「どちらともいえない」が45.5%と最も高く、次いで「どちらかと言えば、進んでいないと思う」が16.8%、「どちらかと言えば、進んでいると思う」が14.5%の順となっています。



問 21 あなたは、過去1年間に地域のまちづくり活動やボランティア活動に参加しましたか？

【例：自治会行事、清掃活動、消防団、子育て支援、祭りのスタッフなど】 (単数回答)

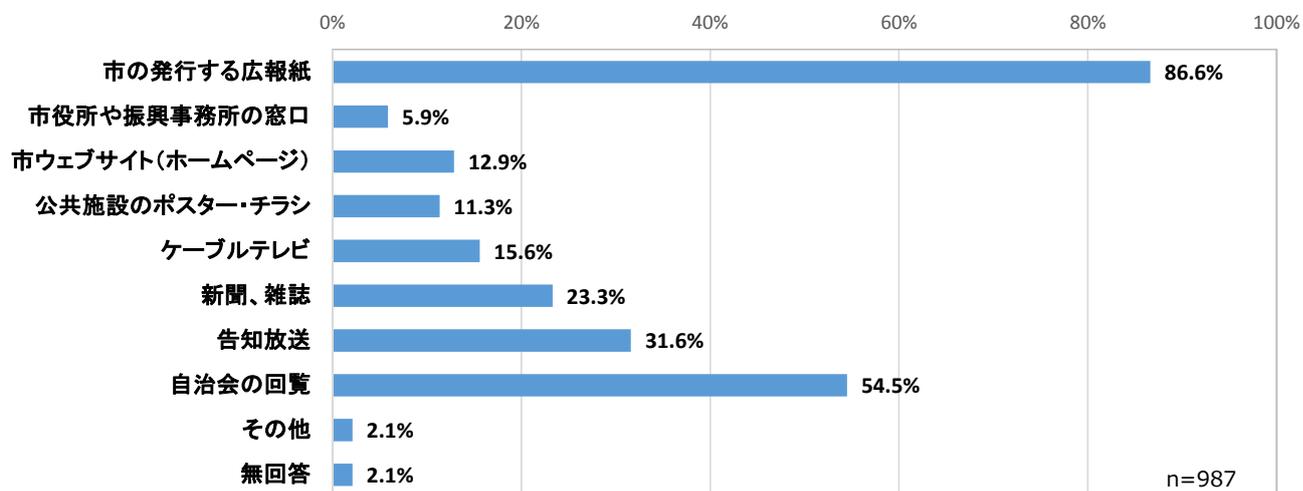
「参加した」が68.9%と、「参加していない」の29.3%を上回っています。



問 22 あなたは、どのような方法で市政の情報を入手していますか？

(複数回答：該当するものすべて)

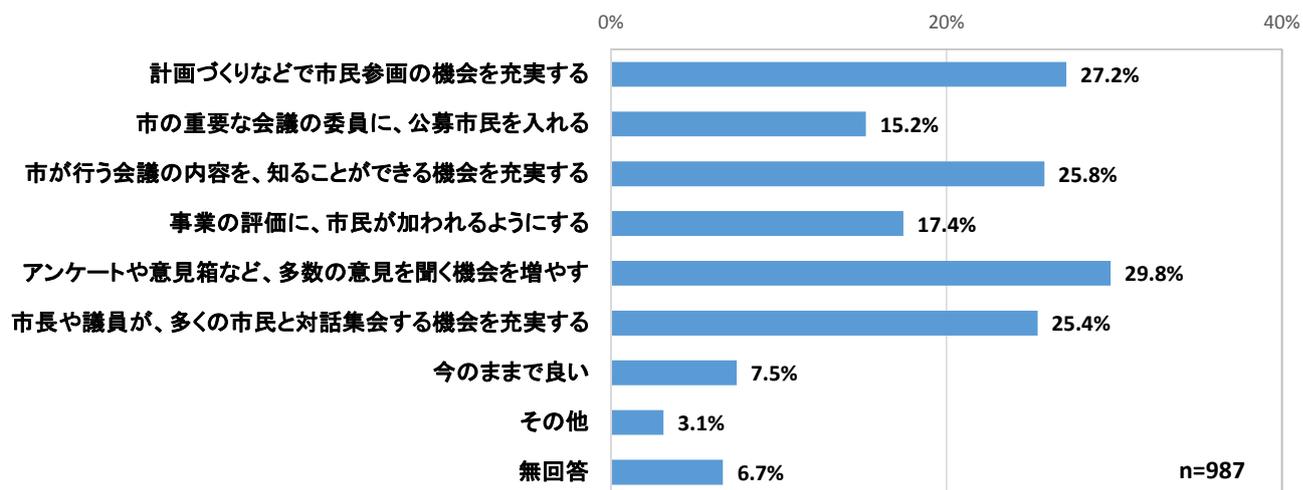
「市の発行する広報紙」が 86.6%と最も高く、次いで「自治会の回覧」が 54.5%、「告知放送」が 31.6%の順となっています。



問 23 市民の意見を市政に反映するために、特に何が必要だと思いますか？

(複数回答：2つまで)

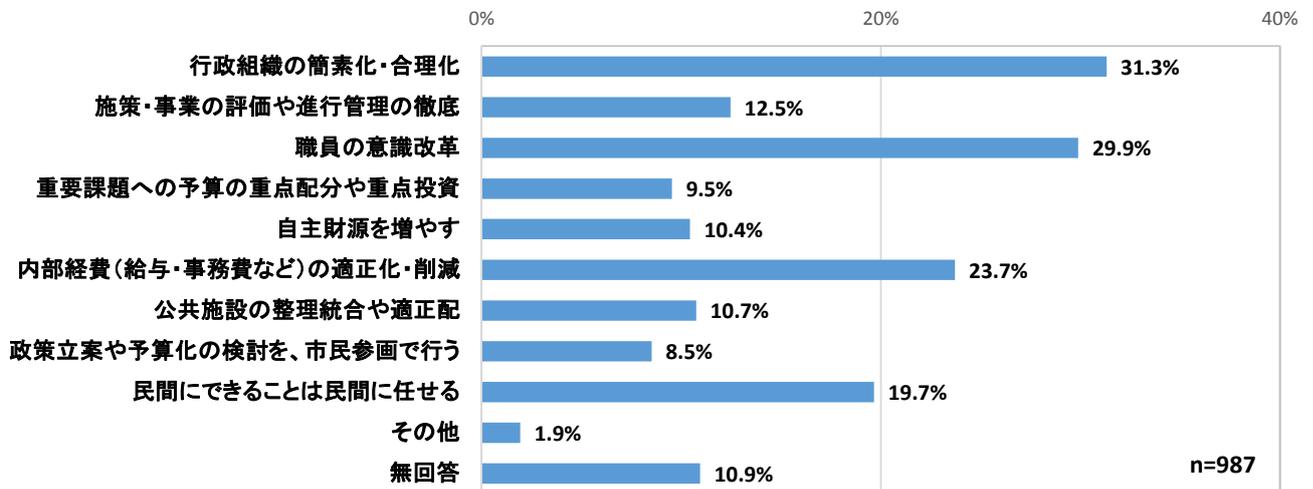
「アンケートや意見箱など、多数の意見を聞く機会を増やす」が 29.8%と最も高く、次いで「計画づくりなどで市民参画の機会を充実する」が 27.2%、「市が行う会議の内容を、知ることができる機会を充実する」が 25.8%の順となっています。



(10) 行財政運営について

問 24 健全で効率的な行財政運営を行うため、市は「行財政改革」に取り組んでいます。そのためには、特に何が重要だと思いますか？ (複数回答：2つまで)

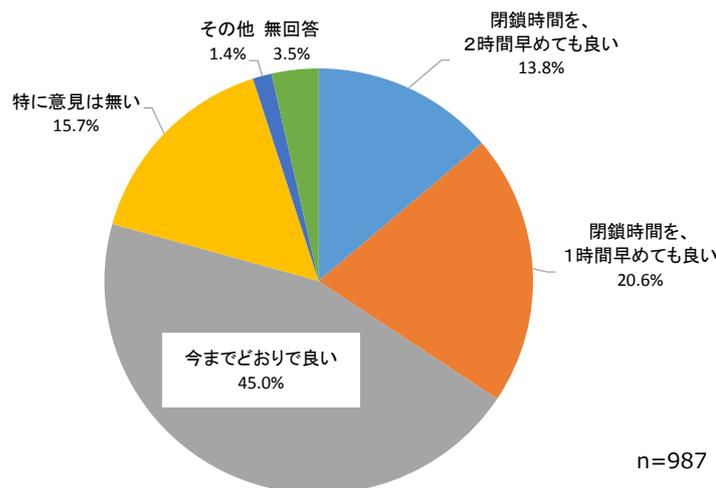
「行政組織の簡素化・合理化」が31.3%と最も高く、次いで「職員の意識改革」が29.9%、「内部経費（給与・事務費など）の適正化・削減」が23.7%の順となっています。



(11) 選挙での投票所の開所時間について

問 25 各選挙（衆議院・参議院・市議会議員等）における、投票日当日の投票所の開所時間についてお尋ねします。あなたは、お住まいの地域の投票所の閉鎖時間※を早めることについて、どのように考えますか？ (単数回答)

「今までどおりが良い」が45.0%と最も高く、次いで「閉鎖時間を、1時間早めても良い」が20.6%、「特に意見は無い」が15.7%の順となっています。

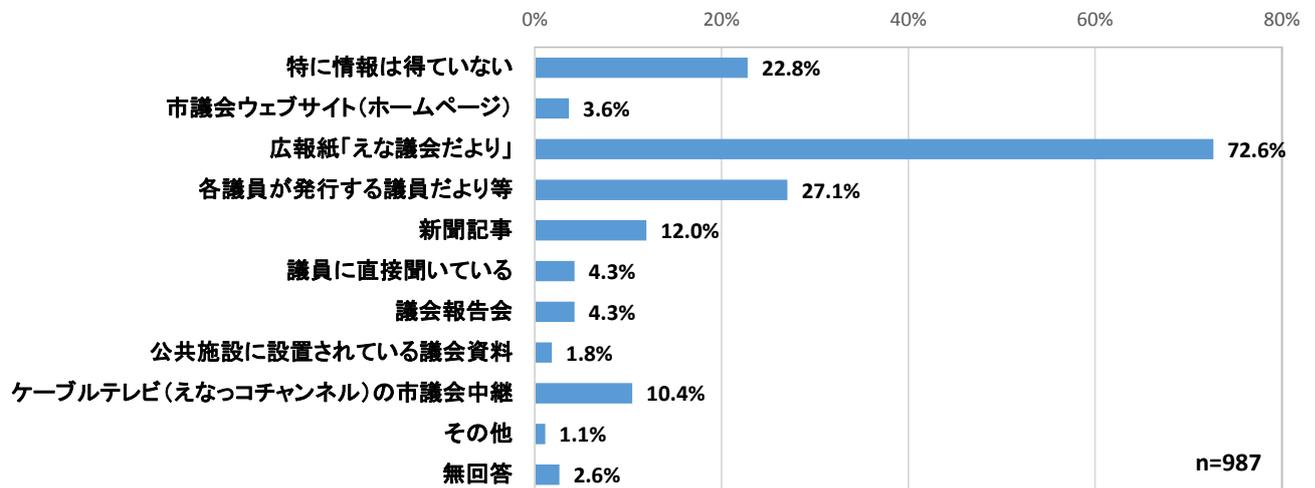


(12) 市議会活動について

問 26 市議会の活動について、主にどこから情報を得ていますか？

(複数回答：該当するものすべて)

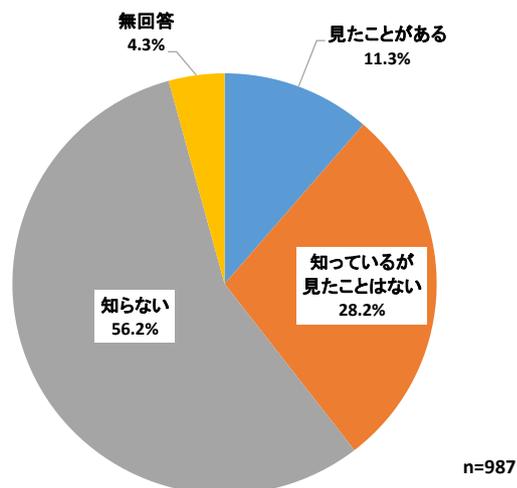
「広報紙『えな議会だより』」が 72.6%と最も高く、次いで「各議員が発行する議員だより等」が 27.1%、「特に情報は得ていない」が 22.8%の順になっています。



問 27 市議会では平成 24 年度より本会議の様子をインターネットによるライブ配信、録画配信を行っていますが、ご存知ですか？

(単数回答)

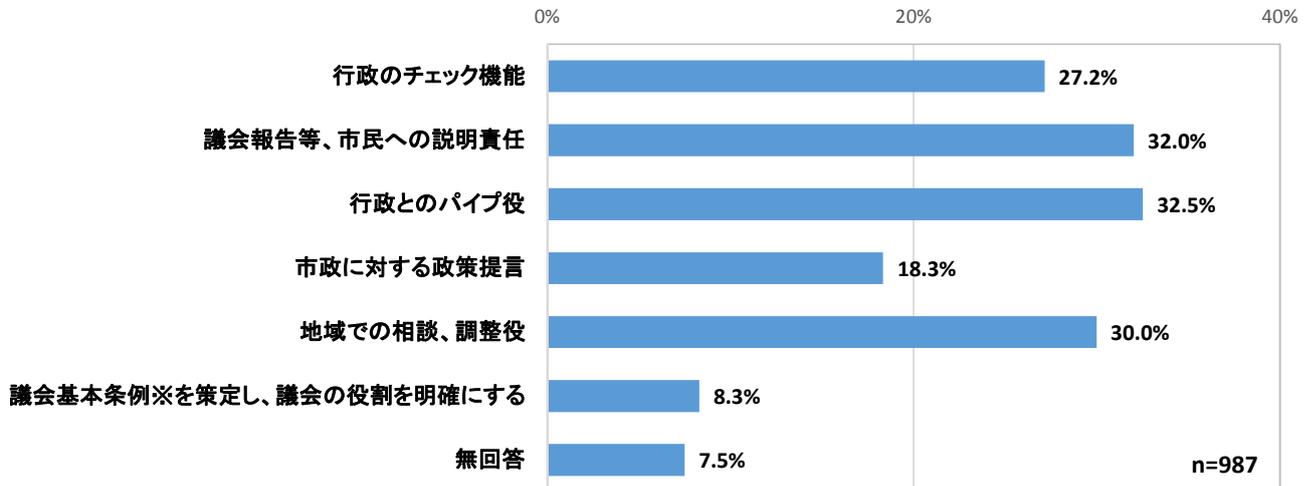
「知らない」が 56.2%と最も高く、次いで「知っているが見たことはない」が 28.2%、「見たことがある」が 11.3%となっています。



問 28 市議会・議員の活動に対して、特に期待することは何ですか？

(複数回答：2つまで)

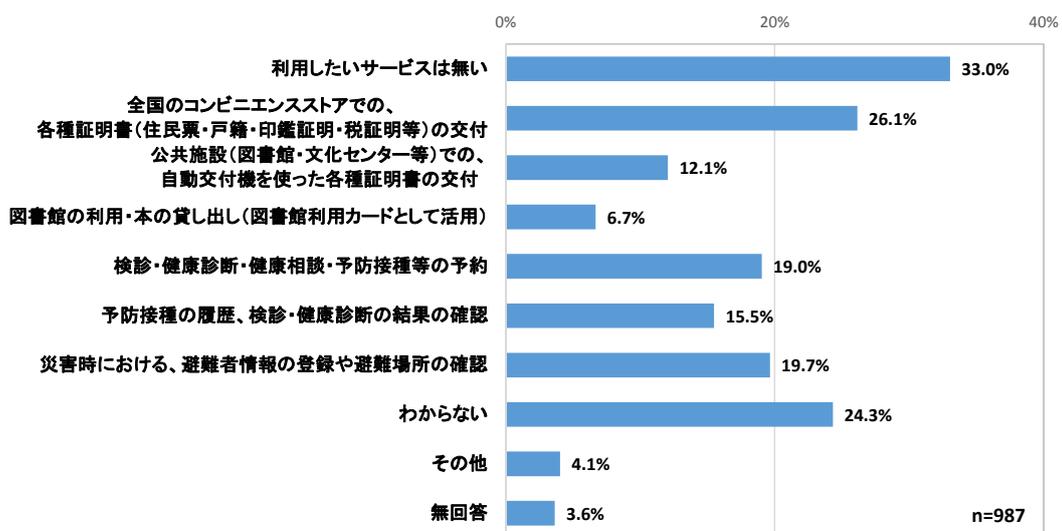
「行政とのパイプ役」が32.5%と最も高く、次いで「議会報告等、市民への説明責任」が32.0%、「地域での相談、調整役」が30.0%の順となっています。



(13) 個人番号カードの活用について

問 29 マイナンバー制度に伴い、平成 28 年 1 月から、顔写真付で身分証明書にも利用できる「個人番号カード」の申請・発行が可能となります。「個人番号カード」は IC チップを搭載しているため、様々な分野での活用が期待されています。この「個人番号カード」を活用して、利用したい行政サービスは何ですか？ (複数回答：該当するものすべて)

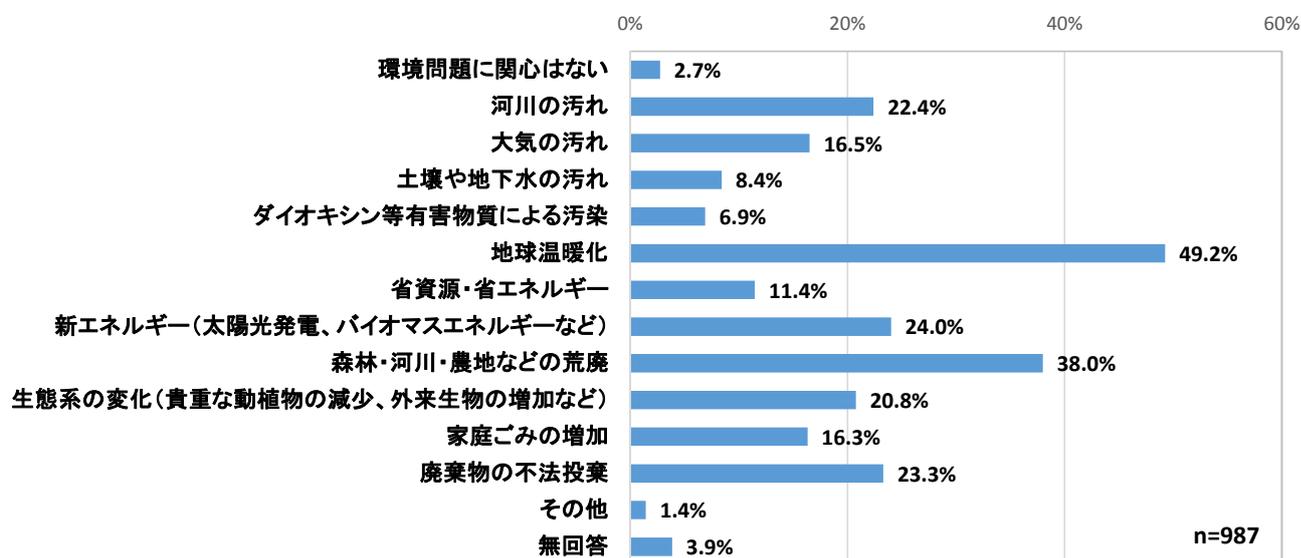
「利用したいサービスは無い」が33.0%と最も高く、次いで「全国のコンビニエンスストアでの、各種証明書(住民票・戸籍・印鑑証明・税証明等)の交付」が26.1%、「わからない」が24.3%の順となっています。



(14) 環境問題・環境対策について

問 30 環境問題について、特に興味を持っているものは何ですか？（複数回答：3つまで）

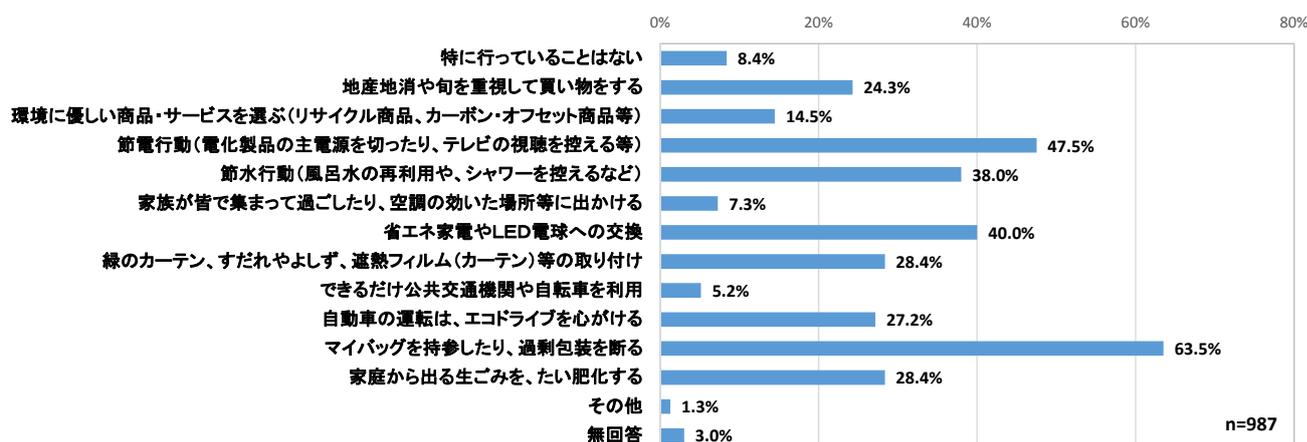
「地球温暖化」が 49.2%と最も高く、次いで「森林・河川・農地などの荒廃」が 38.0%、「新エネルギー（太陽光発電、バイオマスエネルギーなど）」が 24.0%となっています。



問 31 環境を守るために、あなたが普段の生活で行っていることはありますか？

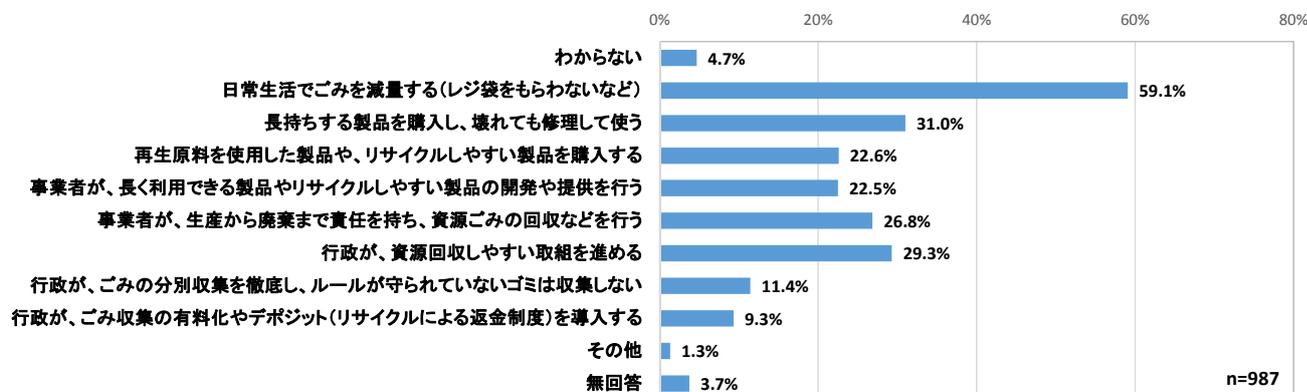
(複数回答：該当するものすべて)

「マイバッグを持参したり、過剰包装を断る」が 63.5%と最も高く、次いで「節電行動（電化製品の主電源を切ったり、テレビの視聴を控える等）」が 47.5%、「省エネ家電や LED 電球への交換」が 40.0%の順となっています。



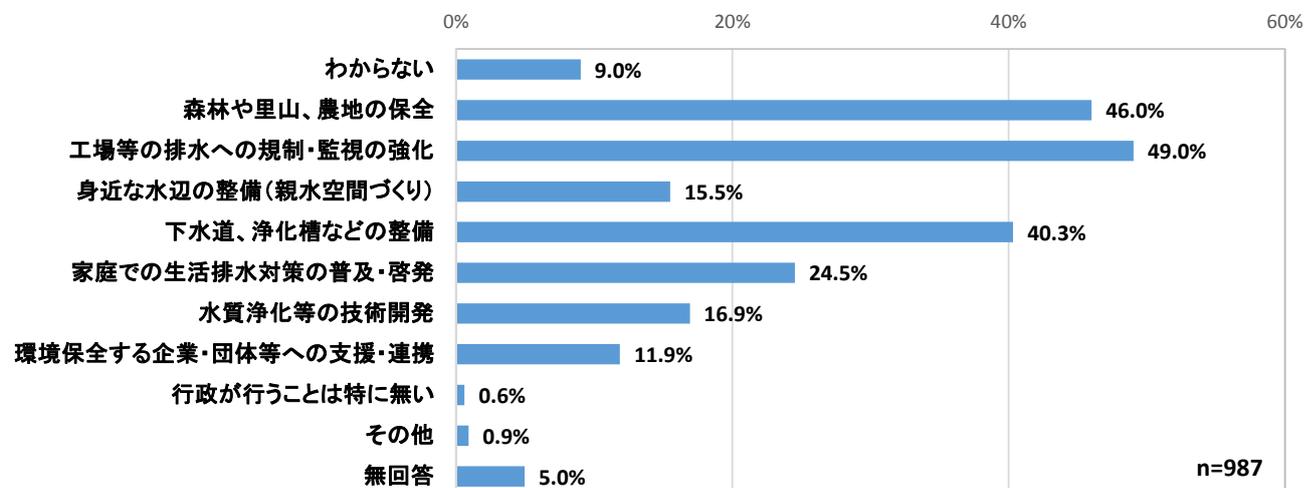
問 32 ごみを減らすために、特に何が必要だと思えますか？ (複数回答：3つまで)

「日常生活でごみを減量する(レジ袋をもらわないなど)」が 59.1%と最も高く、次いで「長持ちする製品を購入し、壊れても修理して使う」が 31.0%、「行政が、資源回収しやすい取組を進める」が 29.3%の順となっています。



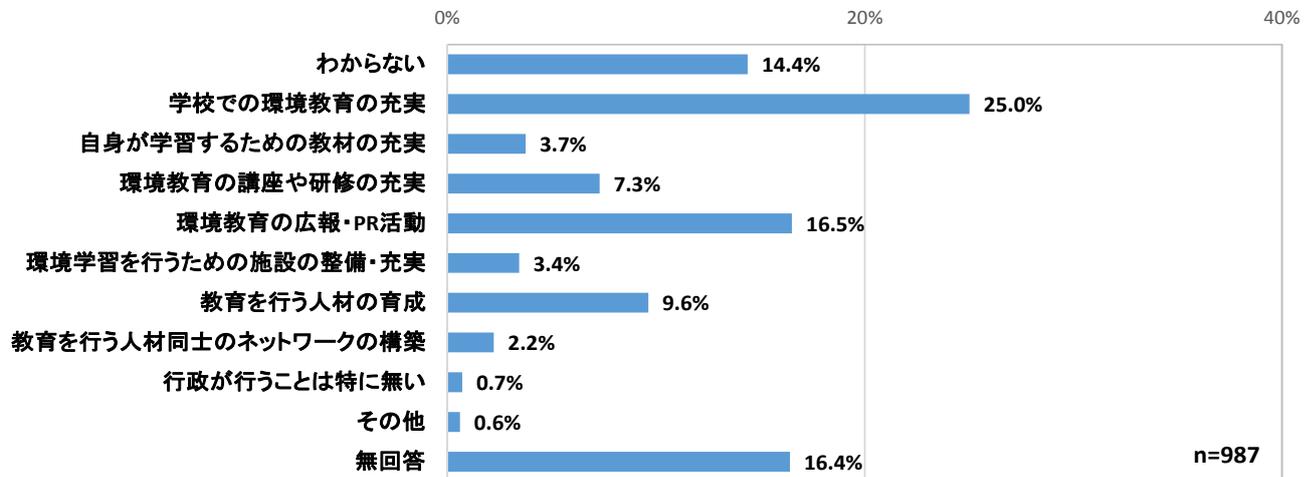
問 33 水の環境を守るために、行政が特に何を行うべきと思えますか？ (複数回答：3つまで)

「工場等の排水への規制・監視の強化」が 49.0%と最も高く、次いで「森林や里山、農地の保全」が 46.0%、「下水道、浄化槽などの整備」が 40.3%の順となっています。



問 34 環境教育を進めるために、行政が特に何を行うべきと思いますか？ (単数回答)

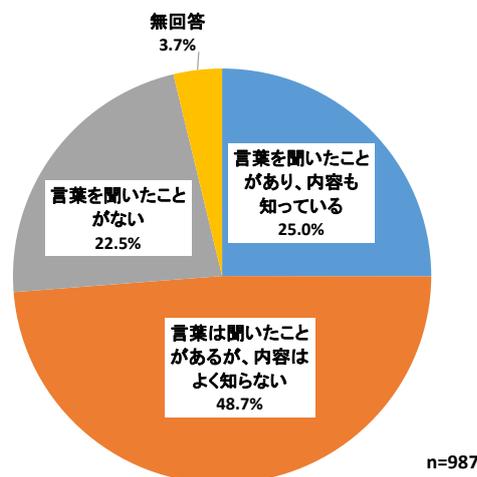
「学校での環境教育の充実」が 25.0%と最も高く、次いで「環境教育の広報・PR活動」が 16.5%、「わからない」が 14.4%の順となっています。



(15) 男女共同参画について

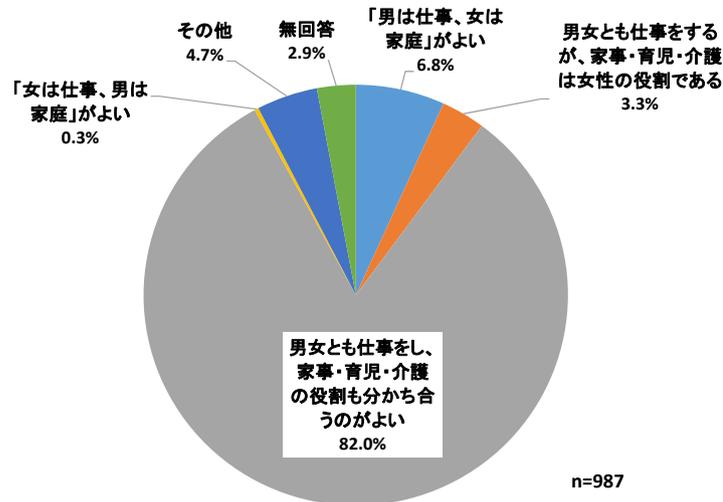
問 35 男女共同参画について、どの程度知っていますか？ (単数回答)

「言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」が 48.7%と最も高く、次いで「言葉を聞いたことがあり、内容も知っている」が 25.0%、「言葉を聞いたことがない」が 22.5%となっています。



問 36 「男は仕事、女は家庭」という考えについて、どのように思いますか？（単数回答）

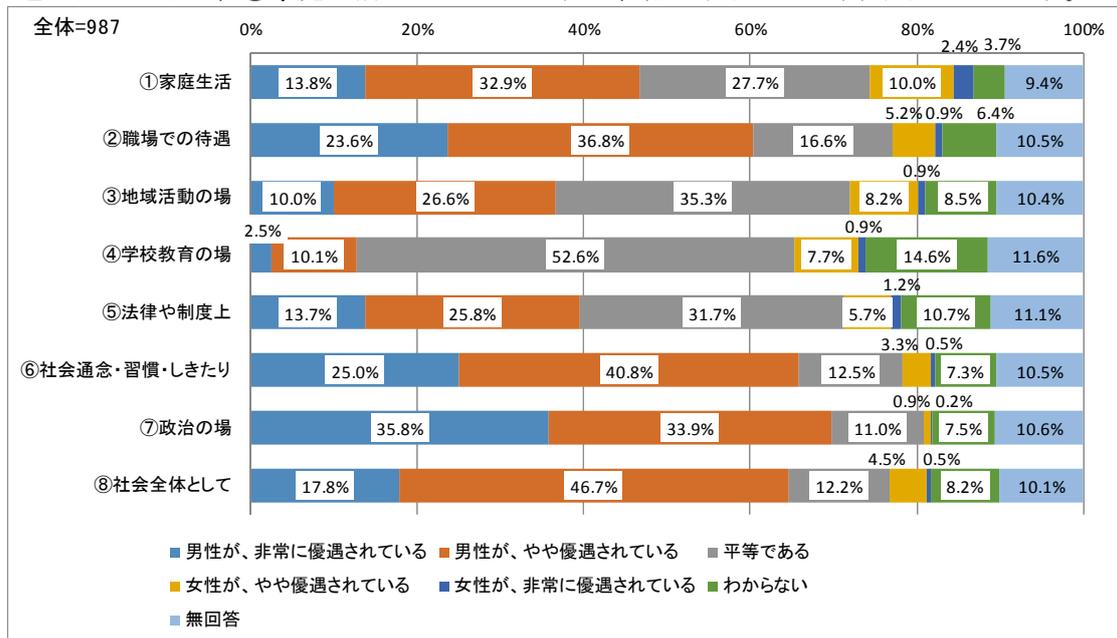
「男女とも仕事をし、家事・育児・介護の役割も分かち合うのがよい」が82.0%と最も高く、次いで「『男は仕事、女は家庭』がよい」が6.8%、「その他」が4.7%の順となっています。



問 37 次の①～⑧について、男女のどちらが優遇されていると感じますか？

（それぞれ1つに回答）

②職場での待遇、⑥社会通念・習慣・しきたり、⑦政治の場、⑧社会全体としては、「男性が、非常に優遇されている」と「男性が、やや優遇されている」を合わせた男性の方が優遇されているが60%以上と高くなっています。次いで、①家庭生活、③地域活動の場、⑤法律や制度上で、男性の方が優遇されているのは36%から46%となっています。④学校教育の場では「平等である」が52.6%と高く、男性の方が優遇されているが12.7%と低くなっています。③地域活動の場と⑤法律や制度上でも「平等である」が30%以上となっています。「女性が、非常に優遇されている」と「女性が、やや優遇されている」を合わせた女性の方が優遇されているのは、①家庭生活において12.5%と、他の項目に比べ高くなっています。



問 38 ワーク・ライフ・バランス（生活と仕事の調和）について、どの程度知っていますか？
(単数回答)

「言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない」が 36.7%と最も高く、次いで「言葉を聞いたことがない」が 33.3%、「意味を知っていて、実践している」が 12.9%の順となっています。

